



西南学院大学博物館年報 第16号 2023

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.16

巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2023年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展や常設展示室テーマ展示等を行っております。特別展では、アジア・太平洋戦争期の福岡におけるキリスト教主義学校の学生生活と教育の変化について焦点を当てた「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」を開催いたしました。企画展では、シーボルト来日200周年を記念し、彼の日本での活動と、蘭学者たちに与えた影響を紹介した展覧会、「シーボルトと近世の蘭学者たち」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、南島原市との相互の館での展示も行っているほか、國學院大學博物館との相互展示も2023年度より再開しております。

2023年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き本学博物館へのご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年10月1日

西南学院大学博物館
館長 片山 隆裕

目 次

| | |
|--|----|
| 巻頭言 | 3 |
| 2023年度事業報告 | |
| 1. 展示活動 | |
| 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動 | |
| 2023年度特別展「戦争と学院―戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校―」実施報告 | 5 |
| 2023年度企画展「シーボルト来日200周年記念 シーボルトと近世の蘭学者たち」実施報告 | 10 |
| 2023年度常設展示室テーマ展示実施報告 | 15 |
| 2023年度常設展示室博物館ニュース展示 実施報告 | 18 |
| 1.2 共同・連携事業による展示活動 | |
| 【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告 | 19 |
| 【國學院大學博物館】相互貸借特集展示 実施報告 | 24 |
| 2. 教育・研究活動 | |
| 博物館実習 | 27 |
| 2023年度博物館実習成果展 | 30 |
| せいなんワークショップ概要 | 32 |
| 博物館刊行物・成果物 | 39 |
| 博物館教職員活動記録 | 42 |
| 3. 来館者動向 | |
| 来館者統計 | 45 |
| 特別展期間中来館者動向 | 46 |
| 来館団体一覧 | 47 |
| 4. その他 | |
| メディア掲載一覧 | 48 |
| 寄贈図書一覧 | 48 |
| 博物館規程 | 53 |
| 西南学院大学博物館組織 | 63 |

1. 展示活動

1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

2023年度特別展

「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」 実施報告

会期：2023年5月29日(月)～7月29日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室・ドージャー記念室

後援：福岡市 福岡市教育委員会 (公財)福岡市文化芸術振興財団

協力：学校法人 西南女学院 北九州市立自然史・歴史博物館
西南学院史資料センター 西南学院大学図書館 同志社大学神学部
福岡女学院資料室 兵士・庶民の戦争資料館

担当：下園知弥(博物館教員)・山本恵梨(学芸調査員)

事業内容

本展示会では、アジア・太平洋戦争期の福岡におけるキリスト教主義学校、福岡女学院・西南女学院・西南学院に焦点を当て、各学院の学生生活と教育の変化について紹介した。また、戦時下の実物資料を数多く展示している兵士・庶民の戦争資料館からも、今回参考資料として借用・展示をおこなった。関連刊行物として、展示会図録(研究叢書)を刊行した。図録には、出品資料所蔵機関より画像の提供をいただいたほか、福岡女学院資料室・西南女学院・西南学院史資料センターよりコラム、西南学院大学神学部教授の須藤伊知郎氏には論考を寄稿していただいた。さらに関連事業として、福岡女学院大学人文学部現代文化学科の講師の井上美香子氏、西南女学院中学校・高等学校の事務長である山口哲蔵氏、西南学院史資料センターのアーキビストの宮川由衣氏、兵士・庶民の戦争資料館の館長である武富慈海氏によるご協力のもと、公開シンポジウムを開催した。



開催概要

民衆の生活や文化に対してさまざまな統制が行われたアジア・太平洋戦争期の日本において、キリスト教主義を掲げた学校は「敵性語」や「敵の文化」を積極的に取り入れていると批判を浴び、その多くが存続の危機に晒されていた。欧米文化の排斥が活発化する中、全国のキリスト教主義学校は、国家に協力姿勢を示しつつ、学校の形態や授業内容、行事名を変えるといったさまざまな工夫によって学校存続を試みた。

本展覧会では、福岡県の三つのキリスト教主義学校、福岡女学院・西南女学院・西南学院に注目し、各学院で当時実際に使用されていた制服や教科書、当時の様子を写した古写真や映像などの展示を通して、戦前から戦時下にかけての学生生活と教育の変化について紹介する。

展覧会構成

- I 福岡女学院 戦火の葡萄
- II 西南女学院 十字架と桜
- III 西南学院 松の下の受難



■西南学院大学博物館 2023 年度特別展

「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」出品目録

2023 年度西南学院大学博物館特別展

戦争と学院 —戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—

主催：西南学院大学博物館

後援：福岡市 福岡市教育委員会（公財）福岡市文化芸術振興財団

協力：学校法人西南女学院 北九州市立自然史・歴史博物館 西南学院史資料センター 西南学院大学図書館

同志社大学神学部 福岡女学院資料室 兵士・庶民の戦争資料館

*展示作品の写真や動画撮影はご遠慮ください。
 *作品保護のため、ケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかたりしないでください。
 *No. は展示順と異なっており、展示解説左上の番号と一致しています。

| No. | 資料名 | 資料：年代／制作地／作者／素材・形態・技法 古写真：撮影年 | 法量 (cm) | 所蔵 |
|------------------------|--|--|---|-------------|
| 第1章 福岡女学院—戦火の葡萄 | | | | |
| 資料 | | | | |
| I-1 | 福岡女学院校章 | 1941 (昭和16) 年以降／福岡／福岡女学院／金属製 | 縦1.9×横1.4 | 福岡女学院資料室 |
| I-2 | THE HOUSE OF THE HEART & OTHER PLAYS FOR CHILDREN | 1909 年／ニューヨーク／Henry Holt and Company 書冊 | 縦17.1×横12.0 | 福岡女学院資料室 |
| I-3 | 制服 冬服 | 1921 (大正10) 年〈制定〉／福岡／福岡女学院／布製 | 総丈92.0 着丈43.0～44.0 | 福岡女学院資料室 |
| I-4 | 制帽 | 1921 (大正10) 年〈制定〉／福岡／福岡女学院／布製 | 周56.5 | 福岡女学院資料室 |
| I-5 | 『若樹』復刊第1号 | 1947 (昭和22) 年／福岡／福岡女学院校友会／紙に印刷 | 縦39.0×横27.0 | 福岡女学院資料室 |
| 参考 | 1935 (昭和10) 年頃 校地校舎及寄宿舎平面図 | 1935 (昭和10) 年頃 | — | — |
| 参考 | 慰問袋 | 制作年不詳／日本／祝愛会／布製 | 縦39.7×横35.0 | 兵士・庶民の戦争資料館 |
| 参考 | 1945 (昭和20) 年 戦災当時の校舎、建造物 | 1945 (昭和20) 年 | — | — |
| 古写真 | | | | |
| I-P1 | セーラー服を着た福岡女学校の生徒 | 1921 (大正10) 年頃 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P2 | バスケットボール中の女学生 | 撮影年不詳 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P3 | メイポールダンス | 1937 (昭和12) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P4 | モンペ姿の女学生 | 1944 (昭和19) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P5 | 奉安殿 | 1941 (昭和16) ～1945 (昭和20) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P6 | 運動場の開墾 | 1943 (昭和18) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P7 | 兵器工場で働く女学生 | 1943 (昭和18) ～1945 (昭和20) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P8 | 戦後初めての「クリスマス会」 | 1945 (昭和20) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| I-P9 | 青空礼拝 | 1945 (昭和20) 年 | — | 福岡女学院資料室 |
| 第2章 西南女学院—十字架と桜 | | | | |
| 資料 | | | | |
| II-1 | 校名募集当選の聖書 | 1920 (大正9) 年／神戸／大英国聖書会社・北英国聖書会社 冊子 (2冊) | (共に) 縦15.5×横11.5 | 西南女学院 |
| II-2 | 西南女学院校章 (戦時下) | 1941 (昭和16) 年／福岡／西南女学院／布製 | 縦6.1×横7.2 | 西南女学院 |
| II-3 | 西南女学院校章 (戦時下～戦後) | 1944 (昭和19) ～1946 (昭和21) 年／福岡／西南女学院 布製 | 夏服用：縦5.1×横4.6 国民服用：縦4.1×横5.1 戦後：縦3.5×横5.1 | 西南女学院 |
| II-4 | 制帽 | 1931 (昭和6) ～1936 (昭和11) 年／福岡／友田洋服店／ 布製 | 周57.8 | 西南女学院 |
| II-5 | 冬制服 | 制服：年代不詳／福岡／友田洋服店／布製 ネクタイ：1944 (昭和19) 年以前／福岡／友田洋服店 絹製 | 制服：総丈99.0 着丈39.5 ネクタイ：縦19.2×横131.0 | 西南女学院 |
| II-6 | 西南女学院卒業記念アルバム | 1930 (昭和5) 年／福岡／西南女学院／冊子 | 縦27.0×横36.5 | 西南女学院 |
| II-7 | 朝鮮見学旅行の栞 | 1936 (昭和11) 年／福岡／ 小倉市下津西南女学院朝鮮旅行案内係／小冊子 | 縦22.0×横16.0 | 西南女学院 |
| II-8 | 『生徒心得 西南女学院』 | 1935 (昭和10) 年／福岡／西南女学院／小冊子 | 縦15.4×横9.3 | 西南女学院 |
| II-9 | Gospel Service Songs | 1938 (昭和13) 年／インディアナ／The Rodeheaver / 書冊 | 縦20.7×横14.5 | 西南女学院 |
| II-10 | 『聖書教科書 イエス伝』 | 1939 (昭和14) 年／東京／基督教教育同盟会編、三省堂 / 書冊 | 縦20.8×横15.0 | 西南女学院 |

| | | | | |
|------------------|--|---|-----------------|-------------|
| II-11 | 『興亜讃美歌』 | 1943（昭和18）年／東京／日本基督教団讃美歌委員会編， 警醒社／書冊 | 縦 18.5 × 横 12.9 | 西南女学院 |
| II-12 | ロウ記念講堂改修記念手鏡 | 2016（平成28）年／福岡／西南女学院／木製，ガラス製 | 直径 7.5 | 西南女学院 |
| 古写真 | | | | |
| II-P1 | 桜の中の十字架 | 1942（昭和17）年以降か | — | 西南女学院 |
| II-P2 | なぎなたの教練 | 1941（昭和16）年 | — | 西南女学院 |
| II-P3 | 防空演習 | 1942（昭和17）年 | — | 西南女学院 |
| II-P4 | 学徒動員女子挺身隊 | 1945（昭和20）年 | — | 西南女学院 |
| II-P5 | 戦時下のグラウンドマーチ | 1941（昭和16）年以降 | — | 西南女学院 |
| II-P6 | 迷彩色のロウ記念講堂1 | 1937（昭和12）年 | — | 西南女学院 |
| II-P7 | 迷彩色のロウ記念講堂2 | 1937（昭和12）年 | — | 西南女学院 |
| III 西南学院——松の下の受難 | | | | |
| 資料 | | | | |
| III-1 | 旧制西南学院中学部校章（戦前） | 1923（大正12）～1942（昭和17）年／福岡／西南学院／ 金属製 | 縦 2.7 × 横 2.4 | 西南学院史資料センター |
| III-2 | 旧制西南学院商業学校校章（戦前） | 1939（昭和14）～1942（昭和17）年／福岡／西南学院／ 金属製 | 縦 2.5 × 横 2.5 | 西南学院史資料センター |
| III-3 | 『西南学院一覽』1921（大正10）年版 | 1921（大正10）年／福岡／西南学院／書冊 | 縦 18.5 × 横 13.7 | 西南学院史資料センター |
| III-4 | 『ゲツセマネ会報』第1号 | 1936（昭和11）年／福岡／ゲツセマネ会／小冊子 | 縦 22.5 × 横 15.1 | 西南学院史資料センター |
| III-5 | 西南学院中学部卒業写真集 | 1932（昭和7）年／福岡／西南学院／冊子 | 縦 31.6 × 横 24.2 | 西南学院史資料センター |
| III-6 | 旧制西南学院中学部校章（戦時下） | 1944（昭和19）年／福岡／西南学院／陶製 | 縦 3.5 × 横 3.5 | 西南学院史資料センター |
| III-7 | 西南学院制帽（レプリカ） | 製作年不詳／福岡／西南学院／布製 | 直径 23.0 周 61.0 | 西南学院史資料センター |
| III-8 | 菊花紋章 | 1937（昭和12）年／福岡／西南学院／木製，金箔 | 直径 18.2 | 西南学院史資料センター |
| III-9 | 『古事記』偽装の英語教科書 | 1941（昭和16）年／日本／[英語教科書] 吉武好孝編， 三省堂／書冊 | 縦 18.1 × 横 13.0 | 西南学院史資料センター |
| III-10 | 『学友会雑誌』第21号 | 1939（昭和14）年／福岡／西南学院学友会／小冊子 | 縦 22.2 × 横 15.1 | 西南学院史資料センター |
| III-11 | 『おとなになれなかった弟たちに……』 | 1983（昭和58）年〈初版〉／東京／米倉齊加年著， 偕成社／書冊 | 縦 26.3 × 横 19.0 | 西南学院大学博物館 |
| III-12 | 『西南よ，キリストに忠実なれ—Be True to Christ— 西南学院創立百周年に当たっての平和宣言—西南学院の戦争責任・戦後責任の告白を踏まえて—』 | 2016（平成28）年／福岡／ 『西南学院の戦争責任・戦後責任の告白（案）』作業部会編， 学校法人西南学院／小冊子 | 縦 21.0 × 横 14.8 | 西南学院大学博物館 |
| 参考 | 1931（昭和6）年 西南学院実測図 | 1931（昭和6）年 | — | 西南学院史資料センター |
| 参考 | 1940（昭和15）年 西南学院校舎配置図 | 1940（昭和15）年 | — | 西南学院史資料センター |
| 参考 | 奉安殿正面図及び側面図 | 1943（昭和18）年 | — | 西南学院史資料センター |
| 参考 | 西南学院音楽部（グリークラブ）第9回定期演奏会プログラム | 1943（昭和18）年 | — | 西南学院史資料センター |
| 参考 | 「松根油緊急増産運動」のポスター | 1944（昭和19）年頃／日本／ 陸軍省・海軍省・農商省・全国農業経済会／紙本色摺 | 縦 50.6 × 横 36.3 | 兵士・庶民の戦争資料館 |
| 古写真 | | | | |
| III-P1 | 授業前の祈禱 | 1925（大正14）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P2 | 高等学部オーケストラ部 | 1922（大正11）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P3 | クリスマス行事 | 1930（昭和5）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P4 | 全日本大学高専英語弁論大会 | 1935（昭和10）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P5 | 庭球部 | 1938（昭和13）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P6 | 勤労奉仕による陸軍墓地の石運搬 | 1935（昭和10）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P7 | 軍事教練 正門前の行進 | 1935（大正10）年 | — | 西南学院史資料センター |
| III-P8 | 奉安所 | 1937（昭和12）年 | — | 西南学院史資料センター |

関連事業

特別展関連公開シンポジウム「キリスト教主義学校における戦時下資料の保存と継承」

日 時：2023年6月24日(土) 13:00～16:00

会 場：西南コミュニティーセンター1階ホール

来場者：65名

司 会：下園知弥(西南学院大学博物館 助教・学芸員)

趣旨説明(展示解説)：山本恵梨(西南学院大学博物館 学芸調査員)

パネリストならびに演題：

井上美香子氏(福岡女学院大学 人文学部現代文化学科 講師)

「戦時下資料の何をどのように継承するのか—福岡女学院資料室の課題と使命—」

山口哲蔵氏(西南女学院中学校・高等学校 事務長)

「苦難を越えて守り続けるキリスト教信仰—建学の精神継承の場『ロウ記念講堂』—」

宮川由衣氏(西南学院史資料センター アーキビスト・学芸員) 「西南学院の『御真影奉戴』」

コメンテーター：

武富慈海氏(兵士・庶民の戦争資料館 館長)



開催概要

江戸時代、出島を通じて日本へもたらされた西洋の学術を「蘭学」と称した。江戸幕府8代将軍・徳川吉宗が1720（享保5）年に海外の書籍の輸入を緩和したことから、武家社会を中心に海外知識が導入され、「蘭学」を学ぶ者（蘭学者）も増えていった。

シーボルト（Philipp Franz Balthasar von Siebold, 1796-1866）はドイツ人の医者・博物学者で、オランダ商館医として1823（文政6）年に来日し、長崎へ滞在した。翌年に鳴滝（長崎市鳴滝町）で私塾「鳴滝塾」を開設し、西洋医学や自然科学などを日本人へ講義した。塾生たちは、幕末から明治にかけて医者や本草学者（博物学者）として活躍した。

本展覧会は、シーボルト来日200周年を記念し、彼の日本での活動と、蘭学者たちに与えた影響を紹介する。

展覧会構成

- I 蘭学の隆盛
- II シーボルトの来日と日本研究
- III 日本人との交流



■西南学院大学博物館2023年度企画展 「シーボルトと近世の蘭学者たち」出品目録

2023年度西南学院大学博物館企画展 西南学院大学博物館×福岡県立図書館共同企画展 シーボルト来日200周年記念

シーボルトと近世の蘭学者たち

2023.10.23(月)▶12.18(月)

会場 西南学院大学博物館1階特別展示室

主催：西南学院大学博物館 共催：福岡県立図書館
後援：福岡市 福岡市教育委員会（公財）福岡市文化芸術振興財団
協力：大分市歴史資料館蔵 九州大学医学図書館 シーボルト記念館 武雄市図書館・歴史資料館
長崎大学附属図書館経済学部分館 福岡市博物館 宮崎克則研究室（西南学院大学国際文化学部国際文化学科）
早稲田大学図書館

- *一部作品をのぞき、展示室内は写真撮影・動画撮影可能です。ただし、フラッシュや三脚を用いての撮影、声を発しながらの動画撮影はご遠慮ください。撮影禁止マークを表示している作品の撮影はご遠慮ください。
*作品保護のため、ケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかたりしないでください。
*No. は展示順となっており、展示解説左上の番号と一致しています。
*参考作品（パネル展示）の情報は、原資料のものを記載しています。

| No. | 資料名 | 制作年／制作地／制作者／素材・形態・技法 (原資料情報) | 大きさ (cm) | 所蔵 (原資料所蔵先) |
|-------------------------|--------------------------------------|---|------------------|-------------------------------|
| I 蘭学の隆盛 | | | | |
| 参考 | 『ターヘル・ アナトミア』 ラテン語版 (パネル展示) | 1732年／アムステルダム(オランダ)／アダム・クルムス〔著〕／紙本印刷、洋装本 | 縦20.0 横13.0 | 九州国立博物館 福岡県立アジア文化交流センター |
| 1 | 『解体新書』 | 1774(安永3)年／江戸／前野良沢・杉田玄白ほか〔訳〕／紙本木版、和装本、全5冊 | 縦26.7 横17.8 | 大分市歴史資料館 |
| 2 | 『紅毛雑話』 | 1787(天明7)年／日本／森島中良〔編〕／紙本木版、和装本、全5冊 | 縦22.6 横15.9 | 西南学院大学博物館 |
| 3 | 『蘭学階梯』 | 1788(天明8)年／日本／大槻玄沢〔著〕／紙本木版、和装本、上下巻 | 縦24.0 横16.0 | 西南学院大学図書館 |
| 4 | 『蘭説辨惑』 | 1799(寛政11)年／伊勢／大槻磬水〔述〕、有馬元晁〔記〕／紙本木版、和装本 | 縦18.5 横12.7 | 西南学院大学博物館 |
| 5 | 芝蘭堂新元会図 (複製) | 明治時代／日本／福井信敏〔版〕／紙本石版(1794〔寛政6〕年／江戸／市川岳山〔画〕、大槻玄沢ほか〔賛〕／紙本彩色、軸装) | 縦119.9 横113.3 | 西南学院大学博物館 (早稲田大学図書館、重要文化財) |
| 参考 | オランダ生活用品 | ワインボトル、ジンボトル、12角炆器瓶、クレーパイプ、平皿、スプーン 18～19世紀／オランダ | — | 西南学院大学博物館 |
| II シーボルトの来日と日本研究 | | | | |
| 6 | 肥前崎陽玉浦風景 の図(部分) | 1862(文久2)年／江戸／歌川貞秀〔画〕、藤岡屋慶次郎〔版〕／木版色摺、大判6枚続 | 縦34.6 横47.7 | 西南学院大学博物館 |
| 参考 | 鳴滝塾舎之図 (パネル展示) | 1824(文政7)年以降／長崎／成瀬石痴〔画〕 ／水彩画 | 縦21.5 横26.0 | 長崎大学附属図書館経済学部分館 |
| 参考 | シーボルト像 (パネル展示) | 江戸時代後期／日本／作者不詳／紙本着色 | 縦122.0 横52.0 | 武雄市図書館・歴史資料館 |

| | | | | |
|--------------------|--|---|-----------------------|----------------------|
| 参考 | 鳴滝塾模型(複製) (パネル展示) | 2023(令和5)年/日本/木・和紙・糊など (1860年頃/日本/木・和紙・糊など) | 縦32.0 横60.4 高さ56.0 | 長崎市 (ミュンヘン五大陸博物館) |
| 7 | 『NIPPON』 図版篇 | 1832～1851年頃/ライデン(オランダ)/ シーボルト/石版、彩色、洋装本、2冊 | 縦60.3 横41.5 | 福岡県立図書館 |
| 8 | 『日本植物誌』 | 1835～1841年頃/ライデン(オランダ)/ シーボルト/石版、彩色、洋装本 | 縦40.5 横32.6 | 福岡県立図書館 |
| 9 | 『日本動物誌』 哺乳類・鳥類 | 1833～1850年頃/ライデン(オランダ)/ シーボルト/石版、彩色、洋装本 | 縦40.5 横32.6 | 福岡県立図書館 |
| III 蘭学者との交流 | | | | |
| 参考 | 『 ^{たいせいほんぞうめい} 泰西本草名詠』 (パネル展示) | 1829(文政12)年/名古屋/ツンベルク〔著〕、 伊藤圭介〔訳〕/紙本木版、和装本 | 縦24.0 横15.3 | 国立国会図書館 |
| 10 | 『 ^{いりょうせいし} 医療正始』 | 1847(弘化4)年/江戸(日本)/ビショフ 〔著〕、エルディック〔訳〕、伊東玄朴〔重訳〕 /紙本木版、和装本、24巻全8冊(22～24 巻欠) | 縦25.6 横18.0 | 九州大学医学図書館 |
| 参考 | 『 ^{かもんざっさい} 下間雑戴』 (パネル展示) | 1828(文政11)年/日本/安部龍平(蘭圃)〔編〕 /紙本木版、和装本 | 縦26.5 横18.5 | 福岡県立図書館 |

福岡県立図書館所蔵シーボルト資料はインターネット上で図版の全ページを閲覧できます。

福岡県立図書館デジタルライブラリ

ふくおか資料室へ

福岡県は九州と本州をつなぐ要地として、また東アジアへの玄関口として、古くから米、麦、貴重な郷土資料を数多く集めた土地です。福岡県立図書館では、福岡県に関する図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録簿・複製資料などを、福岡県民の文化遺産として重点的に収集・保存し、郷土資料の収集保存に努めています。デジタルライブラリでは、そうした郷土資料の一部を閲覧・利用しやすい形で公開しています。



シーボルトが収集した日本について必用資料の範囲を拡大いたします。



福岡県史や文化財や観光など、近世以前の県史資料を拡大いたします。



福岡県の近代以降の発展など、近代以降の県史資料を拡大いたします。



福岡県立図書館の歴史とともに時代に即しての最新情報を紹介します。



福岡県立図書館が所蔵する映像・録音資料を拡大いたします。

福岡県立図書館デジタルライブラリでは、『NIPPON』『日本植物誌』『日本動物誌』の図版全ページを閲覧することができます。「ふくおか資料室」と検索していただくか、QRコードよりアクセスしてください。



福岡県立図書館
デジタルライブラリ

関連事業

①企画展関連公開講演会「シーボルトをめぐる人々」

日 時：2023年12月16日(土) 13:00～16:50 (12:30開場)

会 場：アクロス福岡7階大会議室(福岡市中央区天神1-1-1)

講 師：宇神幸男氏(作家) 「シーボルトの娘たち ―その生涯の謎」

宮崎克則氏(西南学院大学国際文化学部教授) 「シーボルトと福岡藩主黒田斉清」

来場者：200名

②西南学院大学博物館×福岡県立図書館 二館をめぐる！シーボルト展スタンプラリー

期 間：2023年10月23日(月)～12月18日(月)

西南学院大学博物館エントランスと福岡県立図書館本館エントランスにスタンプを設置し、スタンプを二つ集めた方に、展覧会オリジナルグッズ(クリアしおりセット)をプレゼントした。

③ジョージくん&ふっきょんシールプレゼント！

期 間：2023年10月23日(月)～12月18日(月)

西南学院大学博物館もしくは福岡県立図書館子ども図書館にお越しいただいた小学生以下のお子様には西南学院大学博物館マスコットキャラクタージョージくんと福岡県立図書館マスコットキャラクターふっきょんのオリジナルシールをプレゼントした。

④アンケートプレゼント

期 間：2023年10月23日(月)～12月18日(月)

西南学院大学博物館企画展のアンケートに回答いただいた方に、展覧会オリジナルポストカードをプレゼントした。



2023年度常設展示室テーマ展示実施報告

当館では、2021年度からテーマ展示という新しい枠組みでの展示を開始している。常設展示室の一角やケース数点を使用しておこなう小規模展示である。これらの展示は、学芸員や学芸研究員の監修のもと、基本的には学芸調査員（西南学院大学学部生・大学院生）が主体となって企画をおこなう。展示作品の選定から展示まで学生が主体となっておこなうため、展示の実務研修も目的としている。

2023年度テーマ展示1「異国のあにまるず」

会期：2023年9月25日（月）～12月18日（月）

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：前田桃花（学芸調査員）

本テーマ展示では、当館が所蔵している東西交流関連資料のなかでも、特に江戸時代の異国の動物が描かれた作品5点を展示して紹介した。

開催概要

江戸時代、幕府はキリスト教の流入を防ぐため、海外との貿易や日本への来航を制限し、四つの窓口（長崎・対馬・薩摩・松前）のみが外国との繋がりを持っていた。そのような鎖国体制下で日本を訪れたのは〈人〉だけではない。動物たちもまた、将軍への献上や食用などを目的として異国の地からやって来た。その様子は長崎を訪れたオランダ人や中国人などを題材とした絵画や工芸品にも見ることができる。



2023年度テーマ展示2「クリスマス特集展示」

会期：2023年12月1日(金)～12月27日(水)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

クリスマスシーズンの展示として、キリスト降誕に関連するイコンを展示した。同期間中に、エントランスではクリスマスツリーを飾り付ける設置型のワークショップを開催した。

関連イベント

①クリスマスナイトミュージアム

日時：2023年12月16日(土)18:00～20:00

②クリスマスツリーをかざろう！

期間：2023年12月1日(金)～12月27日(水)



2023年度テーマ展示3「楽譜とことば—祈りの歌のカケラたち—」

会期：2023年12月20日(水)～2024年4月4日(木)

会場：西南学院大学博物館1階廊下

協力：シトー会伊万里の聖母トラピスチヌ修道院 西南学院大学応援指導部吹奏楽団

西南学院大学グレゴリオ聖歌研究会 西南学院大学聖歌隊チャペルクワイア

西南学院大学ハンドベルクワイア 西脇純研究室(西南学院大学国際文化学部)

担当：栗田りな(学芸調査員)

小規模な展示であったが、本学国際文化学部教授・西脇純氏をはじめとした関係各所に協力を依頼し、展示テーマに合わせたイベント開催もおこなった。

開催概要

キリスト教には歌をうたって神を賛美する伝統がある。聖書にも「詩と賛歌と霊の歌により、感謝して神に向かって歌いなさい」(コロサイ3:16b)との勧めがあることから、歌は神への賛美と祈りそのものであると考えられてきた。

例えばカトリック教会では「ミサ」や「聖務日課」をはじめとする様々な典礼があるが、それらのいずれにおいても聖歌が歌われる。とりわけ旧約聖書の詩編の歌唱は、そのような「歌」の代表格として、古代教会以来大切にされてきた。聖歌写本が詩編テキストを多く含むのはそのためである。

本展示では主に、聖歌の楽譜とテキストを収める12世紀から17世紀の資料を通して、ローマ・カトリック教会の「ミサ」と「聖務日課」の典礼と聖歌について紹介したい。

関連イベント

①ワークショップ「ネウマで歌ってみよう♪」

日時：2023年12月23日(土) 15:00～16:30

会場：西南コミュニティーセンター 会議室

講師：西脇純氏(西南学院大学国際文化学部教授)

②スプリングコンサート

日時：2024年3月9日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター ホール

出演：西南学院大学応援指導部吹奏楽団 西南学院大学グレゴリオ聖歌研究会
西南学院大学聖歌隊チャペルクワイア 西南学院大学ハンドベルクワイア



常設展示室博物館ニュース展示 実施報告

概要

毎年3回刊行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。「所蔵品紹介」の記事は主に学芸調査員が執筆をしており、本展示は担当学芸調査員の展示事業の実務研修も兼ねている。

2023年度実施報告

2023年度は、ニュース刊行に合わせて計三つのニュース展示を実施し、キリスト教文化から1点、日本キリスト教史から2点の資料を展示した。

博物館ニュース第48号展示

「阿蘭陀国使節長崎入船黒田鍋島陣営図」

担当者 迫田ひなの(学芸研究員)・相江なぎさ(学芸調査員)

博物館ニュース第49号展示

「楽譜付きミサ典書写本断片」

担当者 栗田りな(学芸調査員)

博物館ニュース第50号展示

「芝蘭堂新元会図(複製)」

担当者 鬼束芽依(学芸研究員)



1.2 共同連携事業による展示活動

【長崎県南島原市】

2023年度サテライト展示Ⅰ

「港と異国船—想い描かれた人々の記憶—」実施報告

会期：2023年4月27日（木）～7月21日（金）

会場：長崎県南島原市原城図書館

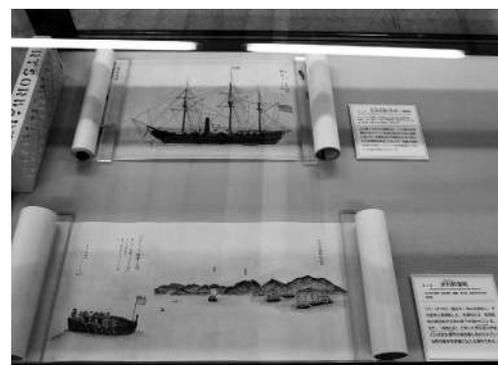
主催：西南学院大学博物館

担当：相江なぎさ（学芸調査員） 副担当：迫田ひなの（学芸研究員）

日本は海に囲まれた島国であり、「船」はその交流に欠かせない重要な要素であった。そのため船は人々の生活に身近に存在し、時代を問わず様々な形で描かれてきた。

外国との貿易においては、「和船」とは姿かたちが異なる「異国船」を人々は目にし、それらの異国船は港や山々とともに景色の一部として描かれた。また、幕末に入り、1853（嘉永6）年7月にペリーが浦賀沖に来航した際、人々が目にした異国船は、畏怖や奇怪なものとして描かれた。

本展示では「異国船」が描かれた資料を用いて、時代ごとに人々がどういった視点で異国船を眺め、描いてきたのかを紹介した。



2023年度サテライト展示Ⅱ

「アジアに渡ったキリスト教美術—フィリピンと日本—」

実施報告

会期：2023年7月24日(月)～2024年1月25日(木)
会場：長崎県南島原市原城図書館
主催：西南学院大学博物館
担当：下園知弥(助教・学芸員) 副担当：栗田りな(学芸調査員)

古代の地中海世界で誕生したキリスト教。この宗教は、その長い発展の歴史の中で、西方教会と東方教会と呼ばれる二つの潮流へと分離した。西方教会(カトリック)の中心地は西ヨーロッパであったが、やがてその布教範囲はアジアにも拡大してゆき、大航海時代の到来以後はインドや東南アジア諸国、そして日本にまで到達した。

布教範囲の拡大は、キリスト教文化の多様化という結果をもたらした。たとえば「キリスト教美術」においては、同じ人物や主題を描いていても、現地の芸術的特徴が反映されている。そのため、地域ごとに特色の異なるキリスト教美術が生み出されている。

本展示では、ヨーロッパからアジアに渡ってきて独自の発展の遂げたカトリックの美術について、フィリピンと日本の作品を展示し、その特色について紹介する。



2023年度サテライト展示Ⅲ

「近世庶民の生業と暮らし—的山大島と佐渡島—」実施報告

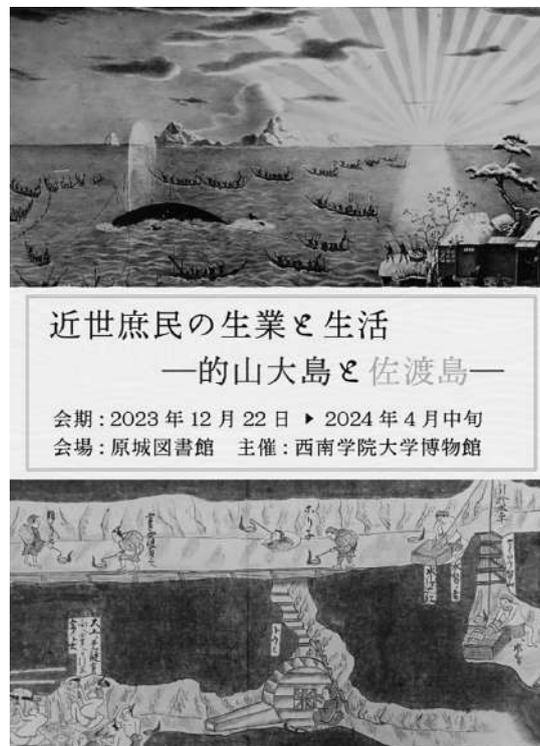
会期：2024年1月26日(金)～4月23日(火)

会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：迫田ひなの(学芸研究員)

鎖国体制下の日本では、より多くの物品や人の輸送を可能にするため、陸路だけでなく、海路が大幅に発達した。それは単に江戸や大坂などの大都市と地方を結んだだけではなく、都市部から海で隔てられた離島との往来を活発にしたとも言える。近世の島々の中には、今回ご紹介する的山大島や佐渡島のように、現在ではあまり見られなくなった生業で栄えた地域も多くある。本展示では、このような近世の離島における庶民の生業と、海路の発達にともなう漂流事件について紹介した。



令和5年度相互貸借特集展示Ⅰ 「原城跡世界遺産登録5周年記念展示」実施報告

会期：2023年7月26日(水)～2024年2月8日(木)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室 南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

平成30(2018)年7月4日、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の1つとして、原城が登録された。令和5年で登録5周年を迎えた。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とはキリスト教禁教による宣教師不在の中、神道や仏教などの日本の伝統的宗教をはじめ、一般社会と関わりながら信仰を続けた「潜伏キリシタンの伝統のあかしとなる遺産群」である。

原城で起こった「島原・天草一揆」は、幕府を大きく震撼させました。一揆後、幕府は宣教師の入国を確実に排除するため、海禁体制(鎖国)を確立するなど、禁教政策を徹底した。「島原・天草一揆」は2世紀以上にわたり、キリシタンたちが潜伏し、自分たちで信仰を守り続けていく重要な“きっかけ”となる出来事になった。つまり、原城跡は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のストーリーの出発点である。

本展示では世界遺産登録5周年を記念して、原城跡から出土したキリシタン遺物や陶磁器などを展示した。



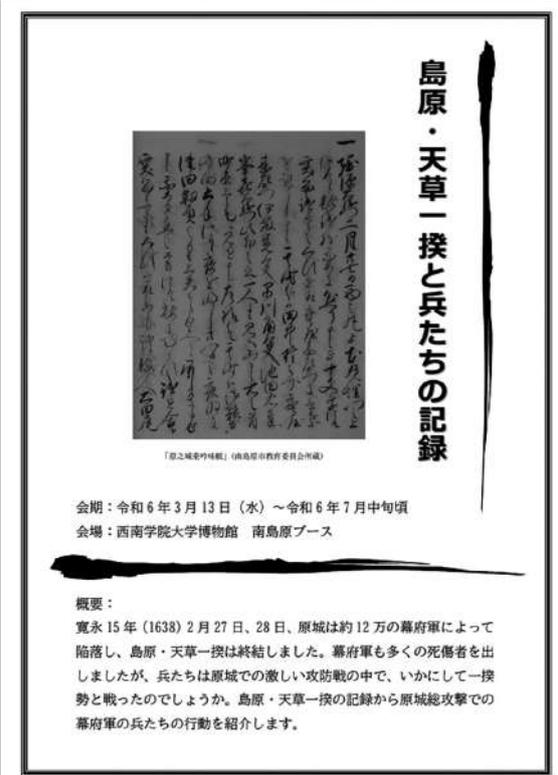
令和5年度相互貸借特集展示Ⅱ 「島原・天草一揆と兵たちの記録」実施報告

会期：2023年3月12日(火)～7月10日(水)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室 南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

寛永15年(1638)2月27日、28日、原城は約12万の幕府軍によって陥落し、島原・天草一揆は終結した。幕府軍も多くの死傷者を出したが、兵たちは原城での激しい攻防戦の中で、いかにして一揆勢と戦ったのだろうか。本展示では、島原・天草一揆の記録から、原城総攻撃での幕府軍の兵たちの行動を紹介した。



島原・天草一揆と兵たちの記録

「原城落城手帳」(南島原市教育委員会所蔵)

会期：令和6年3月13日(水)～令和6年7月中旬頃
会場：西南学院大学博物館 南島原ブース

概要：
寛永15年(1638)2月27日、28日、原城は約12万の幕府軍によって陥落し、島原・天草一揆は終結しました。幕府軍も多くの死傷者を出しましたが、兵たちは原城での激しい攻防戦の中で、いかにして一揆勢と戦ったのでしょうか。島原・天草一揆の記録から原城総攻撃での幕府軍の兵たちの行動を紹介します。



【國學院大學博物館】

國學院大學博物館（東京都渋谷区）との相互貸借特集展示は、コロナ禍を理由に一時停止していたが、2023年度より再開した。

2023年度相互貸借特集展示 I

「創られたキリシタン像」

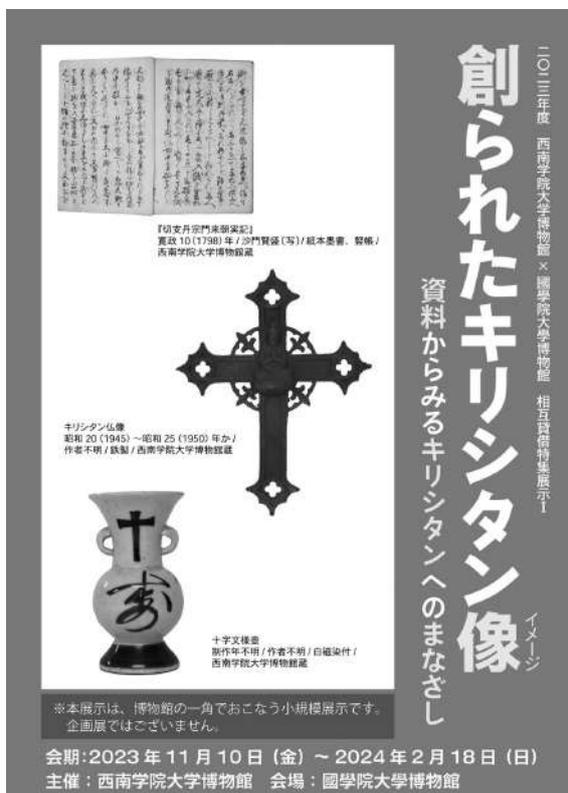
—資料からみるキリシタンへのまなざし— 実施報告

会期：2023年11月10日（金）～2024年2月18日（日）

会場：國學院大學博物館常設展示室

主催：西南学院大学博物館

再開後初の相互貸借特集展示では、「創られたキリシタン像」というテーマで展示をおこなった。江戸時代の初期から現代にいたるまで、人々がいだいているキリシタンに対するイメージを、資料を通して紹介した。展覧会はX(旧 Twitter)上で話題となり、好評を得た。



2023年度相互貸借特集展示Ⅱ

「非西欧圏の祈りⅠ エチオピアにおける祈りのかたち」

実施報告

会期：2024年2月20日(火)～5月12日(日)

会場：國學院大學博物館常設展示室

主催：西南学院大学博物館

「非西欧圏における祈り」というテーマで展示をおこなった。本テーマの第一弾として、アフリカ北東部のエチオピアで独自に発展したエチオピア正教会に関する資料を展示した。こちらの展示も、アンケート等で好評を得た。



國學院大學博物館による相互貸借特集展示 「近代刀剣学序説—「山姥切國廣」発見の頃—」実施報告

会期：2023年11月13日(月)～2024年6月8日(土)

会場：西南学院大学博物館1階廊下

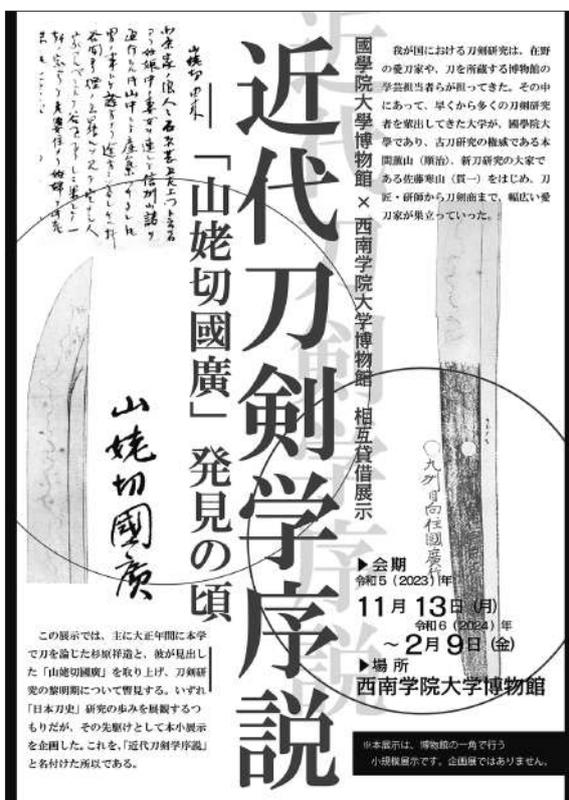
主催：國學院大學博物館

國學院大學博物館による展示。舞台『刀剣乱舞』山姥切國広 単独行 - 日本刀史 - の福岡公演(2023年11月10日〔金〕～11月12日〔日])に合わせて準備した。作品のファンを中心に、普段は博物館で展示することのない内容のため、来館者から好評を得た。

開催概要

我が国における刀剣研究は、在野の愛刀家や、刀を所蔵する博物館の学芸担当者らが担ってきた。その中であって、早くから多くの刀剣研究者を輩出してきた大学が、國學院大學であり、古刀研究の権威である本間薫山(順治)、新刀研究の大家である佐藤寒山(貫一)をはじめ、刀匠・研師から刀剣商まで、幅広い愛刀家が巣立っていった。

この展示では、主に大正年間に本学で刀を論じた杉原祥造と、彼が見出した「山姥切國廣」を取り上げ、刀剣研究の黎明期について瞥見する。いずれ「日本刀史」研究の歩みを展観するつもりだが、その先駆けとして本小展示を企画した。これを、「近代 刀剣学序説」と名付けた所以である。



2. 教育・研究活動

博物館実習

実習概要

2023年度は実習生5名を受け入れ、2023年5月6日(土)から9月9日(土)まで、グループを二つに分けて、計8日間×2回分の博物館実習を実施した。グループ1の初日は、午前には施設案内および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画および企画書の作成を課題とした。実習2日目からは企画展準備作業を指導し(実習5日目のみ日本通運スタッフによる梱包実習を実施)、実習7日目は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもとに行い、設営を完了させた。実習8日目(最終日)は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。グループ2についても概ね同様で、初日～2日目は企画展設営補助、シンポジウム運営補助を行わせ、3～6日目に企画展準備、7日目に企画展設営を行った。最終日の8日目に企画展の撤収を行った。

【2023年度博物館実習生】

中島瑞樹 (神学部神学科)
 西野優季 (外国語学部外国語学科)
 田辺真菜 (人間科学部児童教育学科)
 田中藍梨 (国際文化学部国際文化学科)
 上田葉月 (神学部神学科)

【実習風景】



西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2023 ①

実習担当：下園知弥（博物館教員）

実習日程：5月6日（土）、5月13日（土）、5月20日（土）、5月27日（土）、6月3日（土）、6月10日（土）、
6月17日（土） 計7回

| | 5月6日（土） | | 5月13日（土） | | 5月20日（土） | | 5月27日（土） | |
|----|---------------------|-----------|---------------------|--------|---------------------|--------|---------------------|--------|
| 午前 | 10:00 | 大学博物館集合 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 百年館集合 |
| | 10:10 | オリエンテーション | 10:10 | 企画展案決定 | 10:10 | 企画展作業② | 10:10 | 企画展作業④ |
| 午後 | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | |
| | 13:00 | 企画展考案 | 13:00 | 進捗報告 | 13:00 | 進捗報告 | 13:00 | 進捗報告 |
| | | | 13:30 | 企画展作業① | 13:30 | 企画展作業③ | 13:30 | 企画展作業⑤ |
| | 16:00 | 企画会議 | 17:00 | | 進捗報告 | | 17:00 | |
| | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 |
| | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 |

| | 6月3日（土） | | 6月10日（土） | | 6月17日（土） | |
|----|---------------------|-----------------|---------------------|--------|---------------------|---------|
| 午前 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 大学博物館集合 |
| | 10:10 | 梱包実習 *日本通運指導 | 10:10 | 企画展作業⑥ | 10:10 | 企画展設営準備 |
| 午後 | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | |
| | 13:00 | 進捗報告 | 13:00 | 企画展作業⑦ | 13:00 | 企画展設営 |
| | | 梱包実習 *日本通運指導 | | | | |
| | 17:00 | 進捗報告 | 17:00 | 設営完了 | 17:00 | 設営完了 |
| | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 |
| | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 |

西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2023 ②

実習担当：下園知弥 (博物館教員)

実習日程：6月17日(土)、6月24日(土)、7月1日(土)、7月8日(土)、7月15日(土)、7月22日(土)、
7月29日(土) 計7回

| | 6月17日(土) | | 6月24日(土) | | 7月1日(土) | | 7月8日(土) | |
|----|---------------------|----------------------|---------------------|------------|---------------------|--------|---------------------|--------|
| 午前 | 10:00 | 大学博物館集合 | 10:00 | 大学博物館集合 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 百年館集合 |
| | 10:10 | オリエンテーション 企画展設営補助 | 10:10 | シンポジウム運営準備 | 10:10 | 企画展会議 | 10:10 | 企画展作業② |
| 午後 | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (11:20 - 12:20) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | |
| | 13:00 | 企画展設営補助 | 12:20 | シンポジウム運営補助 | 13:00 | 企画展決定 | 13:00 | 進捗報告 |
| | | | 13:30 | | 企画展作業① | 13:30 | 企画展作業③ | |
| | 14:00 | 作業終了 | 16:00 | シンポジウム終了 | | 17:00 | | 企画展決定 |
| | 14:30 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 |
| | 15:00 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 |

| | 7月15日(土) | | 7月22日(土) | | 7月29日(土) | |
|----|---------------------|--------|---------------------|--------|---------------------|---------|
| 午前 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 百年館集合 | 10:00 | 大学博物館集合 |
| | 10:10 | 企画展作業④ | 10:10 | 企画展作業⑥ | 10:10 | 企画展設営準備 |
| 午後 | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | | 昼 食 (12:00 - 13:00) | |
| | 13:00 | 進捗報告 | 13:00 | 企画展作業⑦ | 13:00 | 企画展設営 |
| | | 企画展作業⑤ | | | | |
| | 17:00 | | 進捗報告 | 17:00 | 設営完了 | 17:00 |
| | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 | 17:10 | 実習日誌作成 |
| | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 | 17:30 | 解散 |

2023年度博物館実習成果展① 「天使みつけ！～天使の種類とその表現～」実施報告

会期：2023年6月17日(土)～7月29日(土)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

2023年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、ポスター等の作成を行った。



開催概要

天使には、天上の神、キリスト、聖霊、聖母子など至高の存在を守り、永遠に賛美するという役割、そして、使者として地上の存在に神の意思を伝え、神の加護を約束する役割があります。そんな天使ですが、日常生活で触れることはあまりないのではないのでしょうか。本展では、さまざまな表現であらわされた天使の資料を解説とともに紹介します。資料をじっくりと観察して、どこにどんな天使がいるのか観賞者に探してもらおうと考えています。

※本展は2023年度西南学院大学博物館実習生による展示です。

展示資料

1. 時祷書零葉「受胎告知図」
1500年頃 / ヨーロッパ / 製作者不詳 / 羊皮紙に活版・木版、手彩、額装 / 西南学院大学博物館
2. トリノ＝ミラノ時祷書
14-15世紀 / フランス / 製作者不詳 / 西南学院大学博物館
3. 東アジアの地図を持つイエズス会宣教師たち
1667年 / オランダ / アタナシウス・キルヒャー (銅版画作者は不明) / 紙に銅版 / 西南学院大学博物館
4. 無原罪の御宿りの聖母像
18世紀 / フィリピン / 木製 / 西南学院大学博物館



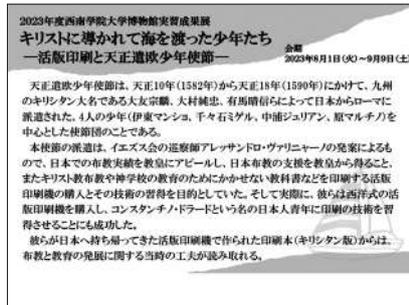
2023年度博物館実習成果展②

「キリストに導かれて海を渡った少年たち—活版印刷と天正遣欧少年使節—」

実施報告

会期：2023年8月1日(土)～9月9日(土)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室



開催概要

天正遣欧少年使節は、日本でのキリスト教布教の支援を教皇から得ること、かつ、日本での布教実績を教皇にアピールすることを目的に派遣された。天正遣欧少年使節は、大航海を経てローマ教皇やスペイン国王などに謁見し、各地で大歓迎を受け、日本と日本人の存在を世界に知らしめた。そして8年5カ月の旅の末に、天正遣欧少年使節は西洋の文化を日本へと持ち帰り、この地における布教と教育の発展に大きな貢献を果たした。

本展示では、天正遣欧少年使節が持ち帰ってきたものの一つである「活版印刷術」で作られたキリシタン版を展示し、彼らがもたらしたものが今の私たちにどう関わっているか考えてもらう。

※本展は2023年度西南学院大学博物館実習生による展示です。

展示資料

1 『どちりな・きりしたん』(復刻)

原本：1600年 / 長崎 / イエズス会 / 和装本、紙に活版 / カサナテンセ図書館蔵

復刻：1978年 / 日本 / 雄松堂書店 / 和装本 / 西南学院大学図書館蔵

2 『羅葡日対訳辞書』(復刻)

原本：1595年 / 天草 / イエズス会 / 洋装本 / オクスフォード大学ボドレアン図書館蔵

復刻：1979年 / 日本 / 勉誠社 / 書冊 / 西南学院大学図書館蔵

2023年度せいなんワークショップ概要

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況も落ち着いてきており、すべての対面型ワークショップを予定通り対面開催することができた。また、昨年度に引き続き、展覧会情報のSNS投稿による教育活動の拡充を行った。YouTubeチャンネルには2023年度に開催した各展覧会の解説動画のほか、初めての試みとしてshort動画を投稿した。

▶せいなんワークショップ

①聖書植物園ツアー

日時：2023年4月8日 14：00～15：30

会場：聖書植物園（西南学院大学キャンパス）

テーマ展示「聖書植物園のあゆみ」の関連ワークショップとして、展覧会会期中に開催した。講師に本学神学部名誉教授の小林洋一先生をお招きし、キャンパス内に点在する聖書植物園を回って植物を見たり、触れたりしながら、解説を行っていただいた。



②テラコッタねんどで土器・はにわづくり

日時：2023年8月5日（土） 午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：00～16：00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

土器やはにわについて簡単な解説を行った後、テラコッタねんどを使用して土器とはにわのうち好きなほうを選び、自由に作品の制作を行った。



③和綴じノートづくり

日時：2023年9月16日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

和綴じについて簡単な解説を行った後、和綴じでメモ帳を1人2冊制作した。



④かぼちゃとジョージくんをさがせ！（常設型）

日時：2023年10月7日(土)～10月31日(火)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室・ドージャー記念室・廊下

上記期間中、常設展示室・ドージャー記念室・廊下にかぼちゃと当館のマスコットキャラクター、ジョージくんのパネルを設置し、その数を当てるワークシートを配布した。回答後のワークシートは事務室にて答え合わせをしたのち、参加者には景品を進呈した。



⑤クリスマスツリーを飾ろう（常設型）

日時：2023年12月1日(金)～12月23日(土)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

エントランスに設置したクリスマスツリーのボードに、マスキングテープで自由にデコレーションしたオーナメントを飾り付けた。

また、例年設置しているクリスマスツリーには、メッセージカードをモールでつるして飾り付けた。



⑥カリグラフィでクリスマスカードづくり

日時：2023年12月7日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

クリスマス(キリスト降誕)に関する作品の絵解きをした後、カリグラフィペンを使用して「Merry Christmas」を練習し、カードに清書した。清書ののち、金箔やシールなどで飾り付けをおこなった。

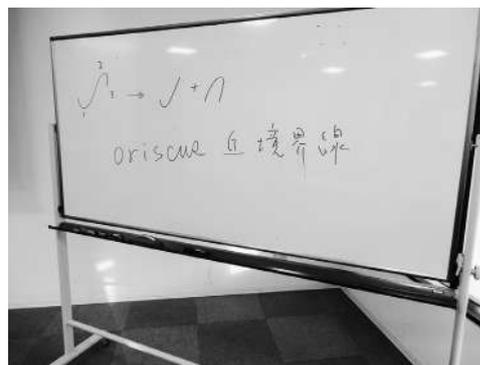


⑦ネウマで歌ってみよう♪

日時：2023年12月23日(土) 15:00～16:30

場所：西南コミュニティーセンター2階会議室

テーマ展示「楽譜とことば—祈りの歌のカケラたち—」の関連ワークショップとして、展覧会会期中に開催した。講師に本学国際文化学部教授の西脇純先生をお招きし、キリストの誕生を祝う降誕祭のミサのグレゴリオ聖歌「Revelabitur」「Viderunt omnes」を「ネウマ譜」と呼ばれる中世の楽譜を読み解きながら歌った。



⑧西南学院大学博物館主催スプリングコンサート

日時：2024年3月9日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター1階ホール

来場者に讃美歌や聖歌を実際に生で聞いてもらうことで、キリスト教の音楽に親しみを持ってもらうことなどを目的として開催した。演奏は、西南学院大学に所属する音楽系団体のうち、チャペルクワイア・ハンドベルクワイア・西南学院大学応援指導部吹奏楽団・西南学院大学グレゴリオ聖歌研究会の4団体に依頼した。



⑨聖書植物でしおりづくり

日時：2024年3月23日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

本学に点在する聖書植物園やワークショップで使用する聖書植物について簡単に解説したのち、当館周辺に植わっている聖書植物「ローズマリー」「トゲワレモコウ」について5分程度実際に見て回りながら解説を行った。その後、聖書植物の押し花を使用して、好きなしおりを二つ制作した。



▶せいなんおでかけワークショップ

産官学連携を行っている長崎県南島原市で行った出張ワークショップである。今年度は3回、3か所に渡ってワークショップを行った。

「ステンドグラス風作品づくり」

①日時：2023年8月28日(月) 14:00～16:00

会場：長崎県南島原市原城図書館

②日時：2023年10月14日(土) 13:30～15:00

会場：長崎県南島原市加津佐図書館

当館スタッフより、紙芝居で天使についての解説をおこなったあと、ラップを吹く天使のステンドグラス風の作品を作成した。



③「カリグラフィでサンクスカードづくり」

日時：2023年10月28日(土) 14:30～16:00

会場：長崎県南島原市西有家図書館

当館スタッフよりカリグラフィについての解説をおこなった後、カリグラフィを何度か練習して、カードに清書した。そのあとは、カードに装飾を施して、自由にメッセージを書いた。



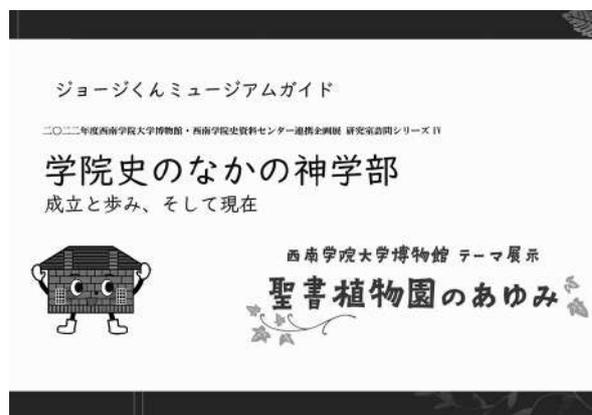
▶ Youtube (西南学院大学博物館チャンネル)

①ジョージくんミュージアムガイド

「学院史のなかの神学部展・聖書植物園のあゆみ展」編

公開：2023年6月12日(月)

2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター／研究室訪問シリーズIV「学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—」と2022年度テーマ展示「聖書植物園のあゆみ」のミュージアムガイド。展示担当者の監修のもと制作した。



②ショート動画 ジョージくん&セラフィーの展覧会紹介①

「天使みつけ！～天使の種類とその表現～」

公開：2023年7月4日(火)

2023年度西南学院大学博物館実習成果展「天使みつけ！～天使の種類とその表現～」の紹介動画。展示担当者の監修のもと制作した。ガイドは西南学院大学博物館のマスコットキャラクターの「ジョージくん」のほか、実習生が作成したマスコットキャラクター「セラフィー」が担当した。



③2023年度西南学院大学博物館特別展

「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」ミュージアムガイド

公開：2023年7月18日(火)

2023年度西南学院大学博物館特別展「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」の紹介動画。展示担当者の監修のもと制作した。



④ 2023年度企画展予告展示の予告 (short 動画)

公開：2023年8月8日 (火)

2023年度西南学院大学博物館予告展示の予告動画。展示担当者の監修のもと制作した。ガイドは西南学院大学博物館のマスコットキャラクターの「ジョージくん」のほか、福岡県立図書館のマスコットキャラクター「ふっきょん」が担当した。



⑤ 2023年度企画展の予告 (short 動画)

公開：2023年10月10日 (火)

2023年度西南学院大学博物館／企画展 西南学院大学博物館×福岡県立図書館共同開催企画展 シーボルト来日200周年記念「シーボルトと近世の蘭学者たち」の予告動画。予告展示の紹介動画同様、ガイドは西南学院大学博物館のマスコットキャラクターの「ジョージくん」のほか、福岡県立図書館のマスコットキャラクター「ふっきょん」が担当した。



⑥ ジョージくんミュージアムガイド

「シーボルトと近世の蘭学者たち」

公開：2023年11月28日 (火)

2023年度西南学院大学博物館企画展「シーボルトと近世の蘭学者たち」の紹介動画。展示担当者の監修のもと作成した。



⑦ 2023年度テーマ展示3紹介 (short 動画)

公開：2024年3月19日 (火)

2023年度テーマ展示「楽譜とことば—祈りの歌のカケラたち—」の紹介動画。展示担当者の監修のもと制作した。

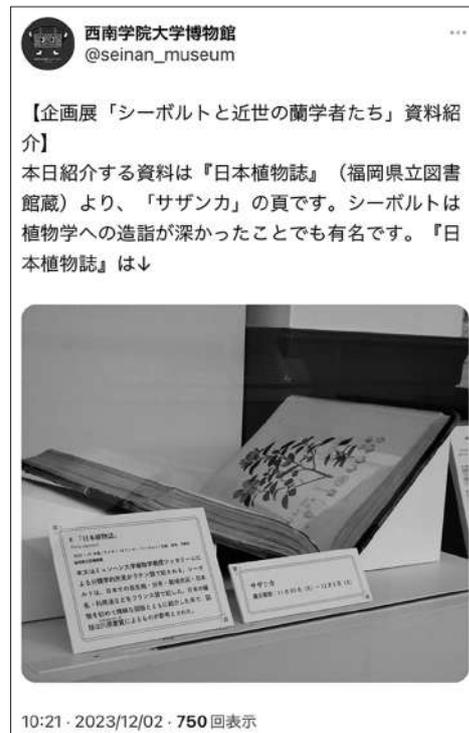


▶ X (旧 Twitter) (@seinan_museum)

企画展「シーボルトと近世の蘭学者たち」資料紹介

期間：2023年11月4日～12月16日 毎週土曜日 全7回

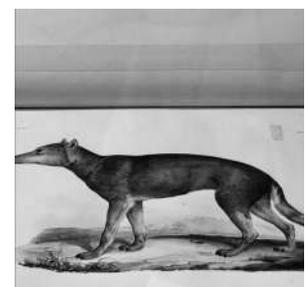
2023年度に開催した、西南学院大学博物館×福岡県立図書館共同企画展シーボルト来日200周年記念「シーボルトと近世の蘭学者たち」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に投稿。Instagramにも同内容を同日掲載した。



▶ Instagram (@seinan_museum)

期間：2023年11月4日～12月16日 毎週土曜日 全7回

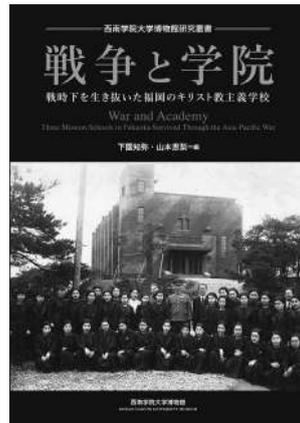
2023年度に開催した、西南学院大学博物館×福岡県立図書館共同企画展シーボルト来日200周年記念「シーボルトと近世の蘭学者たち」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に投稿。X (旧 Twitter) と同内容のものに、ハッシュタグを追加して開催した。



博物館刊行物・成果物

2023年度 西南学院大学 博物館特別展図録

B5判変型
80頁
2023年5月29日発行
編者 下園知弥
山本恵梨



目次

ご挨拶
西南学院大学博物館館長 片山隆裕…………… 2
開催概要／凡例…………… 4

序章 宗教団体法と日本基督教団の成立…………… 5
❖アジア・太平洋戦争下(十五年戦争期)の日本キリスト教 関連年表… 8
【コラム】宗教団体法成立以後のカトリックと正教会の動向
西南学院大学博物館教員 下園知弥…………… 10

第1章 福岡女学院 戦火の葡萄…………… 11
第1節 欧化主義の時代…………… 12
第2節 戦時下の学び舎…………… 18
❖戦時下の福岡女学院 関連年表…………… 25
【コラム】戦時下のキリスト教主義学校と女性教育
西南学院大学博物館学芸調査員 相江なぎさ…………… 26

第2章 西南女学院 十字架と桜…………… 27
第1節 変わりゆく生活と教育…………… 28
第2節 ロウ記念講堂…………… 38
❖戦時下の西南女学院 関連年表…………… 41
【コラム】「原松太伝」と「ランカスター伝」にみる戦時下の西南女学院
西南学院大学博物館教員 下園知弥…………… 42

第3章 西南学院 松の下の受難…………… 43
第1節 青春の思い出…………… 44
【コラム】西南学院中部卒業写真集の寄書中の朝鮮語(ハングル)
西南学院大学国際文化学部教授 伊藤慎二…………… 51
第2節 戦争を越えて…………… 52
❖戦時下の西南学院 関連年表…………… 61
【コラム】大学構内に残るアジア・太平洋戦争末期の松脂採取跡
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼東芽依…………… 62

解説 キリスト教主義学校における戦時下資料の保存と継承…………… 63
「おもん帖」からのメッセージ 福岡女学院大学人文学部
現代文化学科講師 井上美香子…………… 64
苦難を越えて守り続けるキリスト教信仰 建学の精神継承の場「ロウ記念講堂」
西南女学院中学校・高等学校事務長 山口哲蔵…………… 65
西南学院の「御真影奉戴」
西南学院史資料センターアーキビスト 宮川由衣…………… 66

論考
戦時下における修学旅行の実態 西南女学院と西南学院の事例を中心に
西南学院大学博物館学芸調査員 山本恵梨…………… 68
西南学院の使命と平和構築
西南学院大学神学部教授 須藤伊知郎…………… 73

参考文献 77／出品目録 78

2023年度 西南学院大学 博物館企画展図録

A5判変型
40頁
2023年11月2日発行
編者 鬼東芽依
追田ひなの



目次

ご挨拶
西南学院大学博物館館長 片山隆裕
福岡県立図書館館長 池松峰男…………… 2
開催概要／凡例…………… 4

I 蘭学の隆盛…………… 5
蘭学と西洋知識の広まり…………… 7
【Column】蘭華たちの宴 オランダ正月
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼東芽依…………… 10

II シーボルトの来日と日本研究…………… 11
日本への道のり…………… 12
鳴滝塾…………… 15
シーボルトの日本研究三部作…………… 16
【Column】シーボルトが紹介した考古遺物について
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼東芽依…………… 24

III 蘭学者との交流…………… 25
日本初の理学博士 伊藤圭介…………… 26
幕末最高峰の蘭方医 伊東玄朴…………… 28
シーボルトと学術交流をした福岡藩主 黒田斉清…………… 29
【Column】福岡藩の蘭学者たち
西南学院大学博物館学芸研究員 追田ひなの…………… 30
【論考】シーボルトと黒田斉清の「学術交流」
西南学院大学国際文化学部教授 宮崎克則…………… 31

本展覧会関係略年表…………… 37
出品目録…………… 38
主要参考文献ほか…………… 39

西南学院大学 博物館研究紀要 第12号

A4判
114頁
2024年3月20日発行



目次

—論文—
戦争博物館をフィールドワークする
—タイ国カンチャナブリー県の「泰緬鉄道」関連博物館を中心に—
片山 隆裕…………… 3

陸軍毒ガス兵器工場曾根製造所遺跡の現存遺構とその意義
—国内最重要級の戦争遺跡—
伊藤 慎二…………… 19

—研究ノート—
シエナ、パラッツォ・デル・マニフィコのカメラ・ベッラ装飾事業
—ジローラモ・ジェンガ作《ハンニバルから捕虜を解放する
ファビウス・マクシムスの息子》とヤコボ・リバンダの関係をめぐる—
森 結…………… 67

西南学院のヴォーリズ建築 宮川 由衣…………… 79

—資料紹介—
西南学院大学博物館所蔵「軋切支丹類族矢野玄説母たね病死二付葬礼見届之覚」
迫田 ひなの…………… 93(20)

西南学院大学博物館所蔵
「文政十二己丑歳十二月五日切死丹執行之者御仕置御高札之写」
鬼東 芽依…………… 102(1)

西南学院大学 博物館年報 第15号

A4判
66頁
2023年7月1日発行



目次

巻頭言…………… 3

2022年度事業報告
1. 展示活動
2022年度特別展
「掘り出された祈りー考古学からみた筑前・筑後のキリタンー」実施報告… 5
2022年度企画展Ⅰ
「印刷文化の黎明ーインキュナブラからキリタン版までー」実施報告… 9
2022年度企画展Ⅱ / やさしいキリスト教展シリーズ
「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」実施報告……………13
2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携企画展 /
研究室訪問シリーズⅣ
「学院史のなかの神学部ー成立と歩み、そして現在ー」実施報告……………16
常設展示室テーマ展示「波多野培根先生記念日特集展示」実施報告……………19
常設展示室テーマ展示「新収蔵品展『出島のくらし』」実施報告……………20
常設展示室テーマ展示「聖書植物園のあゆみ」実施報告……………21
常設展示室博物館ニュース展示 実施報告……………22

1. 2 共同・連携事業による展示活動
【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告……………23

2. 教育・研究活動
博物館実習……………29
2022年度博物館実習成果展……………31
せいなんワークショップ概要……………33
博物館刊行物・成果物……………39
博物館教職員活動記録……………43

3. 来館者動向
来館者統計……………47
特別展期間中来館者動向……………48
来館団体一覧……………49

4. その他
メディア掲載一覧……………50
寄贈図書一覧……………50
博物館規程……………55
西南学院大学博物館組織……………66

博物館ニュース Volume 48
【1500部発行 発行日2023年5月】



所蔵品紹介：阿蘭陀国使節長崎入船黒田鍋島陣営図
大学博物館のお仕事④：資料の収集と保存
博物館通信：西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携企画展「研究室訪問シリーズⅣ」学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—ほか
展覧会紹介：学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—
展覧会紹介：戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—

博物館ニュース Volume 49
【1500部発行 発行日2023年9月】



所蔵品紹介：楽譜付きミサ典書写本断片
大学博物館のお仕事⑤：展覧会ができるまで その1
博物館通信：2023年度特別展「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」ほか
展覧会紹介：シーボルト来日200周年記念 シーボルトと近世の蘭学者たち

博物館ニュース Volume 50
【1500部発行 発行日2023年12月】



所蔵品紹介：芝蘭堂新年元会図(複製)
大学博物館のお仕事⑥：展覧会ができるまで その2
博物館通信：テーマ展示「異国のあにまるず—異国人とともに描かれた動物—」ほか
展覧会紹介：異国のあにまるず—異国人とともに描かれた動物—
展覧会紹介：楽譜とことば—折りの歌のカケラたち—

2023年度 博物館教職員活動記録

片山隆裕 (本学博物館長・国際文化学部教授)

【論文】

- ・「博物館をフィールドワークするータイ国カンチャナブリー県の「泰緬鉄道」関連博物館を中心にー」(『西南学院大学博物館研究紀要』第12号、2024年3月)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「異国を調査する～研究者たちのフィールドワーク紹介～ Part 1」第5回「[タイー仏教社会の中のムスリム]」(西南コミュニティーセンター、2023年6月23日)
- ・タイ王国・シラチャ日本人学校における講演「泰緬鉄道のお話ータイ国カンチャナブリー」(オンライン、2023年10月21日)
- ・タイ王国バンコク都との高校生交流事業における講演「タイ王国・バンコク都について」(福岡国際交流センター3階、2023年11月4日)

森 結 (本学博物館教員(助教・学芸員))

【論文】

- ・「ルネサンスの社会と古代趣味ー16世紀初頭のルカ・シニョレツリによる装飾事業を中心にー」(九州大学大学院人文科学府 博士学位論文 2024年3月)
- ・「シエナ、パラッツォ・デル・マニフィコのカメラ・ベツラ装飾事業ージローラモ・ジェンガ作《ハンニバルから捕虜を解放するファビウス・マクシムスの息子》とヤーコポ・リパンダの関係をめぐってー」(『西南学院大学博物館研究紀要』第12号、西南学院大学博物館、2024年3月)

【社会貢献活動】

- ・企画「特集展示 赤星亮衛展ー表現がうまれる場ー」(玉名市立歴史博物館こころピア、2023年6月3日～7月2日)

下園知弥 (本学博物館教員(助教・学芸員))

【著書・編書】

- ・『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』(山本恵梨と共編)(花乱社、2023年6月)

【論文】

- ・「キリスト教展示の現状と課題ー諸教会の文化をいかに展示するか？ー」(國學院大學日本文化研究所『国際研究フォーラム「ミュージアムでみせる宗教文化」報告書』、2024年2月)

【解説】

- ・「宗教団体法成立以後のカトリックと正教会の動向」(下園知弥・山本恵梨編『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』、花乱社、2023年6月)
- ・「『原松太伝』と『ランカスター伝』にみる戦時下の西南女学院」(下園知弥・山本恵梨編『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』、花乱社、2023年6月)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「異国を調査する～研究者たちのフィールドワーク紹介～ Part 1」

第1回「フィンランド—アイコンを求めて修道院を訪ねる—」（西南コミュニティーセンター、2023年5月26日）

【社会貢献活動】

- ・企画「2023年度特別展 戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」（西南学院大学博物館1階特別展示室・ドージャー記念室、2023年5月29日～7月29日）
- ・企画「館外サテライト展 アジアに渡ったキリスト教美術—フィリピンと日本—」（長崎県南島原市原城図書館、2023年7月24日～2024年1月24日）

鬼束芽依（本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師）

【著書】

- ・『シーボルトと近世の蘭学者たち：前野良沢から伊藤圭介まで』（迫田ひなのと共編）（花乱社、2023年11月）

【論文】

- ・「西南学院大学博物館所蔵『文政十二己丑歳十二月五日 切死丹執行之者御仕置御高札之写』」（西南学院大学博物館研究紀要 第12号、2024年3月）

【解説】

- ・芝蘭堂新元会図（複製）（所蔵品紹介）（『西南学院大学博物館ニュース Vol.50』、2023年12月）

【社会貢献活動】

- ・企画「2023年度企画展 シーボルトと近世の蘭学者たち」（西南学院大学博物館1階特別展示室、2023年10月23日～12月18日）
- ・企画「2023年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館相互貸借特集展示Ⅰ 創られたキリシタン像—資料からみるキリシタンへのまなざし—」（國學院大學博物館〔東京都渋谷区〕、2023年11月10日～2024年2月18日）
- ・企画「2023年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館相互貸借特集展示Ⅱ 非西欧圏の祈りⅠ エチオピアにおける祈りのかたち」（國學院大學博物館〔東京都渋谷区〕、2024年2月20日～5月12日）

迫田ひなの（本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師）

【著書】

- ・『シーボルトと近世の蘭学者たち：前野良沢から伊藤圭介まで』（鬼束芽依と共編）（花乱社、2023年11月）

【論文】

- ・「西南学院大学博物館所蔵『転切支丹類族矢野玄説母たね病死ニ付葬礼見届之覚』」（『西南学院大学博物館研究紀要』第12号、2024年3月）

【解説】

- ・「阿蘭陀国使節長崎入船黒田鍋島陣営図（所蔵品紹介）」（相江なぎさと共著）（『西南学院大学博物館ニュース Vol.48』、2023年5月）

【社会貢献活動】

- ・企画「館外サテライト展 港と異国船—想い描かれた人々の記憶—」（長崎県南島原市原城図書館、2023年4月27日～7月24日）
- ・企画「2023年度企画展 シーボルトと近世の蘭学者たち」（西南学院大学博物館1階特別展示室、

2023年10月23日～12月18日)

- ・企画「館外サテライト展 近世庶民の生業と生活—的山大島と佐渡島—」(長崎県南島原市原城図書館、2024年1月25日～4月23日)

相江なぎさ(本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「阿蘭陀国使節長崎入船黒田鍋島陣営図(所蔵品紹介)」(迫田ひなのと共著)(『西南学院大学博物館ニュース Vol.48』、2023年5月)
- ・「港と異国船—思い描かれた人々の記憶—」(長崎県南島原市原城図書館館外サテライト展展示解説リーフレット、2023年4月)
- ・「戦時下のキリスト教主義学校と女性教育」(下園知弥・山本恵梨編『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』、花乱社、2023年6月)

【社会貢献活動】

- ・企画「館外サテライト展 港と異国船—思い描かれた人々の記憶—」(長崎県南島原市原城図書館、2023年4月27日～7月24日)

山本恵梨(本学博物館学芸調査員)

【著書・編書】

- ・『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』(下園知弥と共編)(花乱社、2023年5月)

【論文】

- ・「戦時下における修学旅行の実態 西南女学院と西南学院の事例を中心に」(下園知弥・山本恵梨編『戦争と学院：戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校』、花乱社、2023年5月)

【社会貢献活動】

- ・企画「2023年度特別展 戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」(西南学院大学博物館1階特別展示室・ドージャー記念室、2023年5月29日～7月29日)

栗田りな(本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「楽譜付きミサ典書写本断片(所蔵品紹介)」(本学国際文化学部教授 西脇純と共著)(『西南学院大学博物館ニュース Vol.49』、2023年9月)

【社会貢献活動】

- ・企画「常設展示室テーマ展示 楽譜とことば—祈りの歌のカケラたち—」(西南学院大学博物館1階廊下、2023年12月20日～2024年4月4日)

前田桃花(本学博物館学芸調査員)

【社会貢献活動】

- ・企画「常設展示室テーマ展示 異国のあにまるず」(西南学院大学博物館1階常設展示室、2023年9月25日～12月18日)

3. 来館者動向

来館者統計

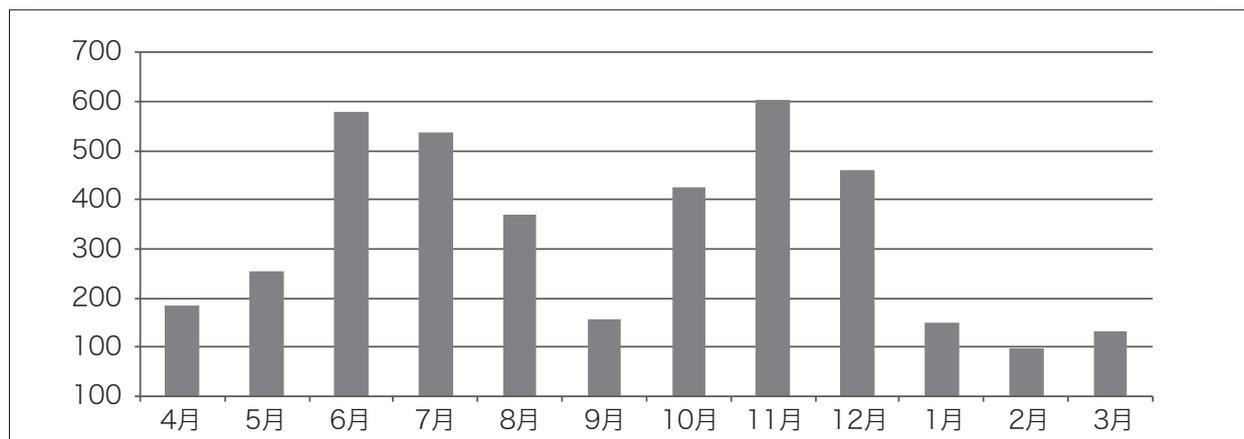
開館以来来館者数 174,903人
 2023年度来館者数 3,946人
 2006～2021年度来館者数 170,957人
 前年度人数 4,180人 (前年度比 94%)

■ 2023年度来館者統計

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 開館日数 | 25 | 23 | 26 | 23 | 21 | 25 | 24 | 26 | 22 | 22 | 25 | 26 | 288 | |
| 学内 | 教職員 | 16 | 5 | 15 | 14 | 3 | 1 | 5 | 10 | 9 | 4 | 0 | 3 | 85 |
| | 本学学生 | 75 | 58 | 236 | 60 | 11 | 28 | 189 | 167 | 32 | 33 | 2 | 7 | 898 |
| | 学内小計 | 91 | 63 | 251 | 74 | 14 | 29 | 194 | 177 | 41 | 37 | 2 | 10 | 983 |
| 学外 | 大人(一般) | 86 | 163 | 277 | 190 | 218 | 99 | 215 | 381 | 343 | 97 | 87 | 111 | 2267 |
| | 他大学生 | 2 | 2 | 20 | 9 | 20 | 18 | 5 | 10 | 14 | 4 | 5 | 7 | 116 |
| | 高校生 | 2 | 8 | 2 | 113 | 104 | 2 | 0 | 5 | 49 | 3 | 1 | 1 | 290 |
| | 中学生 | 0 | 2 | 5 | 140 | 5 | 1 | 2 | 11 | 2 | 4 | 0 | 0 | 172 |
| | 小学生 | 0 | 12 | 21 | 10 | 8 | 1 | 5 | 8 | 6 | 3 | 1 | 3 | 78 |
| | 幼児 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 5 | 5 | 10 | 4 | 2 | 2 | 2 | 40 |
| | 学外小計 | 93 | 190 | 327 | 462 | 357 | 126 | 232 | 425 | 418 | 113 | 96 | 124 | 2963 |
| 海外居住者 | 9 | 3 | 37 | 49 | 69 | 48 | 7 | 10 | 15 | 7 | 5 | 4 | 263 | |
| 男女比 | 男性 | 75 | 84 | 158 | 177 | 112 | 69 | 152 | 175 | 119 | 71 | 53 | 59 | 1304 |
| | 女性 | 90 | 95 | 177 | 182 | 107 | 73 | 170 | 269 | 151 | 54 | 31 | 56 | 1455 |
| | 不明 | 19 | 74 | 243 | 177 | 152 | 13 | 104 | 158 | 189 | 25 | 14 | 19 | 1187 |
| 合計 | 184 | 253 | 578 | 536 | 371 | 155 | 426 | 602 | 459 | 150 | 98 | 134 | 3946 | |

■ 月別来館者数(単位：人)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 184 | 253 | 578 | 536 | 371 | 155 | 426 | 602 | 459 | 150 | 98 | 134 |



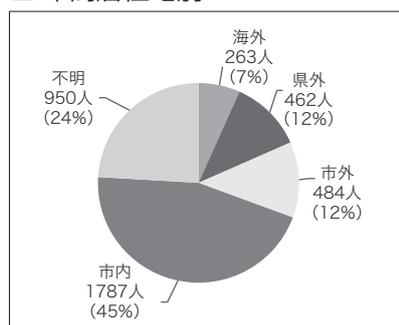
■ 月別開館日数(単位：日)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 25 | 23 | 26 | 23 | 21 | 25 | 24 | 26 | 22 | 22 | 25 | 26 | 288 |

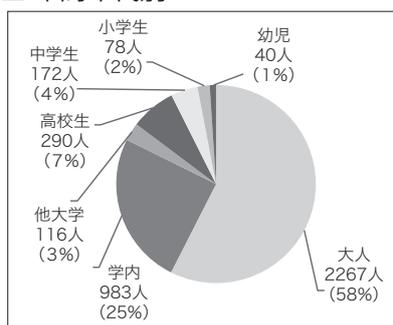
■ 月別1日あたり平均来館者数(単位：人)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 7 | 11 | 22 | 23 | 17 | 6 | 17 | 23 | 20 | 6 | 3 | 5 | 14 |

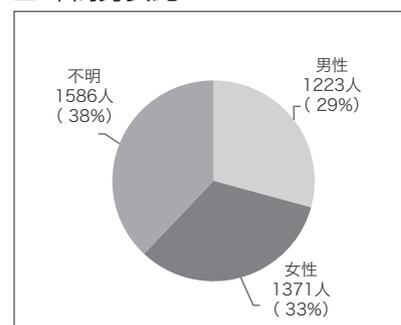
■ 年間居住地別



■ 年間年代別



■ 年間男女比



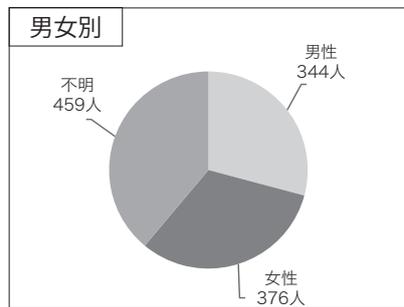
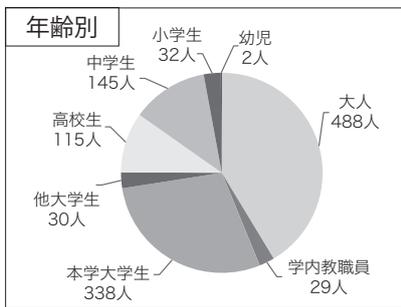
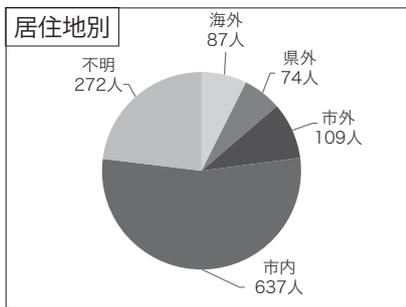
2023年度特別展期間中来館者

■ 第31回特別展

西南学院大学博物館 2023年度特別展

戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—

開催期間：2023年5月29日(月)～7月29日(土) 開催日数：52日 総来館者数：1,179人



| 日 | 特別展 | 休館日 | 天気 | 海外 | 県外 | 市外 | 市内 | 不明 | 合計 | 学外一般 | 学内教職員 | 本学大学生 | 他大学生 | 高校生 | 中学生 | 小学生 | 幼児 | 合計 | 男性 | 女性 | 不明 | 合計 | |
|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|------|-------|-------|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 29日 | 特別展 | | 曇 | 35 | 1 | | | | 36 | | | 36 | | | | | | 36 | | 1 | 35 | 36 | |
| 30日 | 特別展 | | 雨 | 12 | 3 | 6 | 0 | 5 | 26 | 18 | | 6 | 1 | | | 1 | | 26 | 9 | 13 | 4 | 26 | |
| 31日 | 特別展 | | 曇 | | | 2 | 1 | | 3 | 3 | | | | | | | | 3 | | 3 | | 3 | |
| 合計 | 3 | | | | | | | | 65 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日 | 特別展 | | 曇 | 10 | 1 | 1 | 46 | | 58 | 13 | 1 | 44 | | | | | | 58 | 6 | | 52 | 58 | |
| 2日 | 特別展 | | 雨 | | 1 | | 4 | | 5 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 5 | 2 | 2 | 1 | 5 | |
| 3日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 2 | 4 | 9 | | 15 | 13 | 1 | | 1 | | | | | 15 | 6 | 8 | 1 | 15 | |
| 4日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 5日 | 特別展 | | 晴 | | 1 | 1 | 27 | 1 | 30 | 10 | | 20 | | | | | | 30 | 6 | 4 | 20 | 30 | |
| 6日 | 特別展 | | 雨 | 1 | | 3 | | 2 | 6 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | | 6 | 3 | 3 | | 6 | |
| 7日 | 特別展 | | 晴 | 1 | | 4 | 11 | 3 | 19 | 7 | | 10 | 2 | | | | | 19 | 8 | 9 | 2 | 19 | |
| 8日 | 特別展 | | 雨 | 3 | 0 | 3 | 123 | 5 | 134 | 23 | 2 | 94 | 1 | | 3 | 11 | | 134 | 17 | 15 | 102 | 134 | |
| 9日 | 特別展 | | 晴 | | 2 | 6 | | 8 | 16 | 8 | | 6 | | 2 | | | | 16 | 7 | 7 | 2 | 16 | |
| 10日 | 特別展 | | 曇 | 1 | 3 | 7 | 4 | 9 | 24 | 23 | | 1 | | | | | | 24 | 10 | 14 | | 24 | |
| 11日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 12日 | 特別展 | | 晴 | | 1 | 3 | 3 | 2 | 9 | 6 | | 3 | | | | | | 9 | 4 | 3 | 2 | 9 | |
| 13日 | 特別展 | | 曇 | 2 | | 1 | 5 | 2 | 10 | 7 | | 2 | 1 | | | | | 10 | 2 | 8 | | 10 | |
| 14日 | 特別展 | | 曇 | 4 | 1 | 1 | 6 | 7 | 19 | 13 | 3 | 3 | | | | | | 19 | 5 | 7 | 7 | 19 | |
| 15日 | 特別展 | | 晴 | 1 | | 2 | 1 | | 4 | 1 | | 2 | 1 | | | | | 4 | 3 | 1 | | 4 | |
| 16日 | 特別展 | | 晴 | | 2 | 3 | 4 | 1 | 10 | 6 | 1 | 1 | 2 | | | | | 10 | 2 | 8 | | 10 | |
| 17日 | 特別展 | | 晴 | | 2 | 1 | 12 | 15 | 30 | 20 | | | 1 | | | 9 | | 30 | 14 | 14 | 2 | 30 | |
| 18日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 19日 | 特別展 | | 晴 | | | 2 | 3 | | 5 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 5 | 3 | 2 | | 5 | |
| 20日 | 特別展 | | 晴 | | 1 | 1 | 3 | | 5 | 4 | 1 | | | | | | | 5 | 4 | 1 | | 5 | |
| 21日 | 特別展 | | 雨 | 1 | | | 2 | 10 | 13 | 6 | | 7 | | | | | | 13 | 8 | 5 | | 13 | |
| 22日 | 特別展 | | 晴 | 1 | | | 20 | 9 | 30 | 12 | 1 | 15 | | | 2 | | | 30 | 8 | 7 | 15 | 30 | |
| 23日 | 特別展 | | 曇 | | 2 | 1 | 6 | 4 | 13 | 13 | | | | | | | | 13 | 10 | 3 | | 13 | |
| 24日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 5 | 8 | 16 | 23 | 52 | 49 | | | 1 | | | 1 | 1 | 52 | 18 | 24 | 10 | 52 | |
| 25日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 26日 | 特別展 | | 曇 | | | | 8 | 2 | 10 | 4 | | 5 | | | | | 1 | 10 | 1 | 6 | 3 | 10 | |
| 27日 | 特別展 | | 晴 | 2 | 1 | 3 | | 2 | 8 | 6 | | 2 | | | | | | 8 | 4 | 4 | | 8 | |
| 28日 | 特別展 | | 曇 | | 1 | 1 | 1 | | 3 | 2 | | | 1 | | | | | 3 | 2 | 1 | | 3 | |
| 29日 | 特別展 | | 曇 | | 1 | 2 | 5 | 4 | 12 | 5 | 1 | 6 | | | | | | 12 | 2 | 5 | 5 | 12 | |
| 30日 | 特別展 | | 雨 | 10 | 1 | 8 | 1 | 18 | 38 | 17 | 1 | 12 | 8 | | | | | 38 | 3 | 16 | 19 | 38 | |
| 合計 | 26 | | | 37 | 28 | 66 | 320 | 127 | 578 | 277 | 15 | 236 | 20 | 2 | 5 | 21 | 2 | 578 | 158 | 177 | 243 | 578 | |
| 1日 | 特別展 | | 雨 | | | 1 | 2 | | 3 | 2 | | 1 | | | | | | 3 | | 3 | | 3 | |
| 2日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 3日 | 特別展 | | 雨 | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 4日 | 特別展 | | 雨 | 0 | 0 | 2 | 6 | 102 | 110 | 1 | 2 | 27 | 0 | 80 | | | | 110 | 7 | 13 | 90 | 110 | |
| 5日 | 特別展 | | 雨 | | 1 | | 1 | 6 | 8 | 8 | | | | | | | | 8 | 1 | 1 | 6 | 8 | |
| 6日 | 特別展 | | 晴 | 3 | 1 | 1 | 48 | | 53 | 6 | 3 | 8 | 1 | | 35 | | | 53 | 5 | 2 | 46 | 53 | |
| 7日 | 特別展 | | 雨 | | 1 | 3 | 3 | 1 | 8 | 5 | | 3 | | | | | | 8 | 3 | 4 | 1 | 8 | |
| 8日 | 特別展 | | 雨 | 9 | 3 | 5 | 1 | | 18 | 15 | | | | 1 | 2 | | | 18 | 10 | 8 | | 18 | |
| 9日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 10日 | 特別展 | | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 11日 | 特別展 | | 晴 | | 4 | 1 | 1 | | 6 | | 1 | | 5 | | | | | 6 | 4 | 2 | | 6 | |
| 12日 | 特別展 | | 晴 | 14 | 2 | | 6 | 1 | 23 | 21 | 1 | 1 | | | | | | 23 | 12 | 9 | 2 | 23 | |
| 13日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 1 | 0 | 147 | 0 | 148 | 8 | 4 | 3 | 0 | 31 | 102 | 0 | 0 | 148 | 76 | 69 | 3 | 148 | |
| 14日 | 特別展 | | 晴 | | 7 | 2 | 2 | 4 | 15 | 15 | | | | | | | | 15 | 4 | 6 | 5 | 15 | |
| 15日 | 特別展 | | 晴 | | | 4 | 1 | | 5 | 5 | | | | | | | | 5 | 1 | 1 | 3 | 5 | |
| 16日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 17日 | 特別展 | | 晴 | 5 | 1 | | 4 | | 10 | 9 | | 1 | | | | | | 10 | 6 | 3 | 1 | 10 | |
| 18日 | 特別展 | | 晴 | 1 | 1 | 1 | 7 | | 10 | 7 | | 3 | | | | | | 10 | 3 | 6 | 1 | 10 | |
| 19日 | 特別展 | | 曇 | 0 | 2 | 4 | 3 | 0 | 9 | 6 | 0 | 2 | 1 | | | | | 9 | 2 | 3 | 4 | 9 | |
| 20日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 | 9 | 6 | 0 | 3 | | | | | | 9 | 3 | 5 | 1 | 9 | |
| 21日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 4 | 2 | 1 | 1 | 8 | 6 | 1 | | 1 | | | | | 8 | 2 | 3 | 3 | 8 | |
| 22日 | 特別展 | | 晴 | | | 4 | 15 | 1 | 20 | 14 | | 1 | | | | 5 | | 20 | 5 | 10 | 5 | 20 | |
| 23日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 24日 | 特別展 | | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 25日 | 特別展 | | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 26日 | 特別展 | | 晴 | 0 | 2 | 0 | 9 | 11 | 22 | 17 | | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 22 | 11 | 11 | | 22 | |
| 27日 | 特別展 | | 晴 | 5 | 2 | 6 | 4 | 7 | 24 | 20 | | 2 | | | | 2 | | 24 | 10 | 13 | 1 | 24 | |
| 28日 | 特別展 | | 晴 | 1 | 1 | 2 | 7 | 1 | 12 | 5 | 1 | 4 | 1 | | | 1 | | 12 | 3 | 7 | 2 | 12 | |
| 29日 | 特別展 | | 晴 | 11 | 4 | | | | 15 | 14 | 1 | | | | | | | 15 | 9 | 3 | 3 | 15 | |
| 30日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 31日 | | 休館日 | | | | | | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | 0 | |
| 合計 | 23 | | | 49 | 38 | 39 | 270 | 140 | 536 | 190 | 14 | 60 | 9 | 113 | 140 | 10 | 0 | 536 | 177 | 182 | 177 | 536 | |

2023年度来館団体一覧

| 期日 | 見学時間 | 団体名・使用目的 | 人数 |
|---------|-------------|----------------------------|----|
| 4月 8日 | 14:00～15:30 | 聖書植物園ツアー | 21 |
| 5月 19日 | 13:10～14:50 | 講義「博物館の世界」 | 25 |
| 5月 19日 | 16:50～18:30 | 講義「博物館経営論」 | 15 |
| 5月 29日 | 13:10～14:50 | 講義「博物館の世界」 | 27 |
| 5月 29日 | 16:50～18:30 | 講義「博物館経営論」 | 8 |
| 6月 1日 | 9:00～10:30 | 講義「キリスト教学」 | 40 |
| 6月 1日 | — | 韓国人観光客 | 10 |
| 6月 2日 | 15:30～17:10 | 講義「博物館教育論」 | 14 |
| 6月 8日 | 9:30～10:30 | 講義「キリスト教学」 | 50 |
| 6月 8日 | 11:50～12:50 | 講義「キリスト教学」 | 40 |
| 6月 8日 | 11:30～12:00 | 福岡クリスチャンインターナショナルスクール | 11 |
| 6月 22日 | 15:30～16:00 | 学部演習(外国語学部) | 16 |
| 6月 30日 | 10:00～10:30 | 学院演習(国際文化学部) | 12 |
| 7月 4日 | 14:00～14:30 | 学部演習(人間科学部) | 6 |
| 7月 4日 | 14:30～15:00 | 福岡県立中間高校・西南学院大学学生広報団体 LUSH | 48 |
| 7月 4日 | 15:30～16:00 | 福岡県立中間高校・西南学院大学学生広報団体 LUSH | 48 |
| 7月 6日 | 13:20～14:00 | 西南中学校 | 36 |
| 7月 6日 | 16:00～16:30 | 学部演習(神学部) | 9 |
| 7月 12日 | 13:30～14:00 | 西南中学校 | 40 |
| 7月 12日 | 14:30～15:00 | 西南中学校 | 40 |
| 7月 13日 | 10:00～10:35 | 西南中学校・西南高校 | 65 |
| 7月 13日 | 13:30～14:05 | 西南中学校 | 34 |
| 7月 13日 | 14:30～15:05 | 西南中学校 | 34 |
| 7月 14日 | 11:00～11:45 | 西南中学校 | 41 |
| 8月 1日 | 14:10～14:50 | 西南学院大学学生広報団体 LUSH・他大学職員 | 58 |
| 10月 30日 | 17:00～18:00 | 講義「博物館展示論」 | 13 |
| 11月 16日 | 10:45～11:55 | 大木町文化財専門委員会 | 6 |
| 11月 18日 | 10:45～11:55 | ITEC | 14 |
| 12月 15日 | 11:00～11:30 | 西南学院高等学校 | 45 |
| 12月 23日 | 16:20～17:10 | 福岡建築士会 | 25 |

4. その他

2023年度メディア掲載一覧 (TV、ラジオ、新聞、書籍、ネット記事等)

| 掲載日 | 媒体 | タイトル | 概要 |
|----------------|---------------------|--|--------------------------------------|
| 2023年6月21日(水) | 朝日新聞 | キリスト教系学校 戦時下の苦悩 | 特別展「戦争と学院―戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校―」の紹介 |
| 2023年7月20日(木) | 読売新聞 | 戦時下を守った 信仰と学び キリスト教系学校資料展 | 特別展「戦争と学院―戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校―」の紹介 |
| 2023年10月23日(月) | FBS 福岡放送 めんたいワイド | シーボルト来日200年を記念 福岡市で無料の企画展始まる 特別公開の作品も | 企画展「シーボルトと蘭学者たち」の紹介 |
| 2023年10月25日(水) | 朝日新聞 | シーボルトが見た日本 書物など資料で紹介 初来日200年 西南学院大博物館 | 企画展「シーボルトと蘭学者たち」の紹介 |
| 2023年12月6日(水) | 毎日新聞 | シーボルト来日200年記念 著作三部作を特別公開 | 企画展「シーボルトと蘭学者たち」の紹介 |

寄贈図書一覧

| 著者・编者 | 書名 | 資料区分 | 発行年 | 寄贈元 |
|--------------------------|---|------|------|--------------------------|
| 広島大学総合博物館 | 広島大学総合博物館ニュースレター Vol.16 | 小冊子 | 2023 | 広島大学総合博物館 |
| 大分市歴史資料館 | 大分市歴史資料館ニュース Vol.129 | 小冊子 | 2022 | 大分市歴史資料館 |
| 大分市歴史資料館 | 大分市歴史資料館ニュース Vol.130 | 小冊子 | 2023 | 大分市歴史資料館 |
| 大分市歴史資料館 | 令和4年度特別展(第40回) 大分の人形浄瑠璃 | 図録 | 2022 | 大分市歴史資料館 |
| 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 | びじゅつって、すげえ! 2022-2023 Vol.1 美術で遊ぶ、美術館。 | 小冊子 | 2023 | 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 |
| 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 | びじゅつって、すげえ! 2022-2023 Vol.2 いろんなところに、美術がいっぱい。 | 小冊子 | 2023 | 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 |
| 長崎県文化振興・世界遺産課 | 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要 第2号 | 紀要 | 2023 | 長崎県文化振興・世界遺産課 |
| 長崎県文化振興・世界遺産課 | 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録4周年記念 シンポジウム「キリシタンと日本」 | 報告書 | 2023 | 長崎県文化振興・世界遺産課 |
| 筑紫野市歴史博物館 | 筑紫野市歴史博物館 年報22(令和2年度) | 年報 | 2022 | 筑紫野市歴史博物館 |
| 佐賀県立九州陶磁文化館 | セラミック九州 佐賀県立九州陶磁文化館報 No.59 | 小冊子 | 2023 | 佐賀県立九州陶磁文化館 |
| 一般財団法人 西日本文化協会 | 西日本文化 No 506 2023-4 | 小冊子 | 2023 | 伊藤慎二教授 |
| 大阪大谷大学博物館 | 博物館だより | 小冊子 | 2023 | 大阪大谷大学博物館 |
| 壱岐市教育委員会 | 壱岐市文化財調査報告書第36集 | 報告書 | 2023 | 壱岐市教育委員会 |
| 壱岐市教育委員会 | 一支国再発見 第7号 | 小冊子 | 2023 | 壱岐市教育委員会 |
| 長崎県南島原市教育委員会 | 南島原市文化財調査報告書 第32集 東新堂原遺跡 中野B遺跡 中野C遺跡 中野A遺跡 | 報告書 | 2023 | 南島原市教育委員会 |
| ノースアジア大学 雪国民俗館 | 雪国民俗(第47号) | 小冊子 | 2023 | ノースアジア大学 雪国民俗館 |
| 東北大学総合学術博物館 | 紀要 No. 22 2023 | 紀要 | 2023 | 東北大学総合学術博物館 |
| 福岡市美術館 | 福岡市美術館ニュース『エスプラナード』211号 | 小冊子 | 2023 | 福岡市美術館 |
| 立命館大学 国際平和ミュージアム | 立命館大学 国際平和ミュージアムだより Vol. 30-3(通巻89号) | 小冊子 | 2023 | 立命館大学 国際平和ミュージアム |
| 学習院大学史料館 | 学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.51 | 小冊子 | 2023 | 学習院大学史料館 |
| 宇美町教育委員会 | 宇美町文化財調査報告書第25集 上角遺跡5―上角遺跡 第4次発掘調査報告書― | 報告書 | 2023 | 宇美町教育委員会 |
| 公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館 | のこ博物館だより 第87号 | 小冊子 | 2023 | 公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館 |
| 長崎県南島原市教育委員会 | 南島原市文化財調査報告書 第23集 内野貝塚(第一分冊) ―市道新田内野線道路改良事業に伴う発掘調査― | 報告書 | 2021 | 長崎県南島原市教育委員会 |
| 長崎県南島原市教育委員会 | 南島原市文化財調査報告書 第31集 内野貝塚(第二分冊) ―市道新田内野線道路改良事業に伴う発掘調査― | 報告書 | 2023 | 長崎県南島原市教育委員会 |
| 長崎県南島原市教育委員会 | 南島原市文化財調査報告書 第33集 大崎鼻遺跡 一市道南島原自動車道線整備工事に伴う発掘調査― | 報告書 | 2023 | 長崎県南島原市教育委員会 |
| 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(TARO) | 伝統芸能文化創生プロジェクト 2022年度事業報告書 | 報告書 | 2023 | 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(TARO) |

| 著者・編者 | 書名 | 資料区分 | 発行年 | 寄贈元 |
|------------------------------------|--|------|------|--------------------------|
| 九州歴史資料館 | 九歴だより No.57 | 小冊子 | 2023 | 九州歴史資料館 |
| 九州歴史資料館 | 西新町遺跡 | 小冊子 | 2023 | 九州歴史資料館 |
| 玉川大学教育博物館 | 博物館ニュース「SHU」No.60 | 小冊子 | 2023 | 玉川大学教育博物館 |
| 玉川大学教育博物館 | 玉川大学教育博物館紀要 第20号 | 紀要 | 2023 | 玉川大学教育博物館 |
| 公益財団法人 鍋島報効会 | 徴古館報 第42号 | 小冊子 | 2023 | 徴古館 |
| 学校法人 鎮西学院大学 | 文化的景観調査報告書第2集 旧木ノ口墓所 | 報告書 | 2023 | 学校法人 鎮西学院大学 |
| 八女市教育委員会 | 茶臼塚1号墳：福岡県八女市立花町北山所在古墳の確認調査報告書：八女市文化財調査報告書第139集 | 報告書 | 2023 | 八女市教育委員会 |
| 帝塚山大学考古学研究所 | 帝塚山大学考古学研究所研究報告 XXV | 報告書 | 2023 | 帝塚山大学考古学研究所 |
| 帝塚山大学附属博物館 | 帝塚山大学附属博物館年報XVIII | 年報 | 2023 | 帝塚山大学附属博物館 |
| 筑紫野市歴史博物館 | 筑紫野市歴史博物館 年報23 | 年報 | 2023 | 筑紫野市歴史博物館 |
| 長崎文化観光国際部 文化振興・世界遺産課 | 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要 第2号 | 紀要 | 2023 | 長崎文化観光国際部 文化振興・世界遺産課 |
| 社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会 | 「愛の手を」 | 小冊子 | 2023 | 社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会 |
| 北九州市立自然史・歴史博物館 | 北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告B 類 歴史 第20号 | 報告書 | 2023 | 北九州市立自然史・歴史博物館 |
| 帝京大学博物館 | 帝京大学博物館 館報 第5号 2021(令和3)年度 | 館報 | 2023 | 帝京大学博物館 |
| 久留米市文化財保護課・久留米文化財収蔵館 | 収蔵館ニュース 第19号(改題通算45号) | 小冊子 | 2023 | 久留米市役所 |
| 新潟市歴史博物館 みなとびあ | 新潟市歴史博物館 博物館ニュース vol.58 帆檣成林 | 小冊子 | 2023 | 新潟市歴史博物館 みなとびあ |
| 福岡アジア美術館 | あじびニュース vol.90 | 小冊子 | 2023 | 福岡アジア美術館 |
| 中部大学民族資料博物館 | News Letter 中部大学民族資料博物館 vol.17 | 小冊子 | 2022 | 中部大学民族資料博物館 |
| 中部大学民族資料博物館(中部大学 学事部学事課/民族資料博物館担当) | 特別講座(古典絵画)2022年度受講生作品展一画絹に描く～扇面と短冊 | 図録 | 2023 | 中部大学民族資料博物館 |
| 中部大学民族資料博物館 | 中部大学民族資料博物館 年報 2020/202110号 | 年報 | 2022 | 中部大学民族資料博物館 |
| 中部大学民族資料博物館 | 中部大学民族資料博物館 講演記録 2020/2021 | その他 | 2022 | 中部大学民族資料博物館 |
| 大阪大学適塾記念センター | 大阪大学適塾記念センター ニューズレター「適塾かわら版」巻七 | 小冊子 | 2023 | 大阪大学適塾記念センター |
| 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター | 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第100号 | 小冊子 | 2023 | 東京大学史料編纂所 |
| 九州大学総合研究博物館 | 九州大学総合研究博物館研究報告第20号 | 報告書 | 2023 | 九州大学総合研究博物館 |
| 九州大学総合研究博物館 | 九州大学総合研究博物館ニュース No.39 | 小冊子 | 2023 | 九州大学総合研究博物館 |
| 鹿児島国際大学ミュージアム | 鹿児島国際大学ミュージアム調査研究報告 第20集 | 報告書 | 2023 | 鹿児島国際大学ミュージアム |
| 松戸市立博物館友の会 | 松戸市立博物館友の会 会報5 第133号 | 小冊子 | 2023 | 松戸市立博物館友の会 |
| 京都大学大学文書館 | 京都大学大学文書館だより 第44号 | 小冊子 | 2023 | 京都大学大学文書館 |
| 京都大学大学文書館 | 京都大学大学文書館研究紀要 第21号 | 紀要 | 2023 | 京都大学大学文書館 |
| 新修宗像市史編集委員会 | 宗像市史研究 第5号 | その他 | 2022 | 新修宗像市史編集委員会 |
| 北九州市漫画ミュージアム | 漫画新聞 VOL.3 2023 | 小冊子 | 2023 | 北九州市漫画ミュージアム |
| 福岡市総合図書館 | 古文書だより 第2号 | 小冊子 | 2023 | 福岡市総合図書館 |
| 福岡市総合図書館 | 福岡市総合図書館研究紀要 第23号 | 紀要 | 2023 | 福岡市総合図書館 |
| 平戸市生月町博物館 | 平戸市生月町博物館 島の館だより vol.27 | 小冊子 | 2023 | 平戸市役所 |
| 学習院大学史料館 | 学習院大学 史料館紀要 第29号 | 紀要 | 2023 | 学習院大学史料館 |
| 学習院大学史料館 | 学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.50 | 小冊子 | 2023 | 学習院大学史料館 |
| 関岡絵梨花 | ちくごアートリレーション2022 ちくごアート企画室 | その他 | 2023 | 九州芸文館 |
| 愛知大学東亜同文書院大学記念センター | 同文書院記念報 VOL.31 | 紀要 | 2023 | 愛知大学東亜同文書院大学記念センター |
| 愛知大学東亜同文書院大学記念センター | 東亜同文書院記念基金ニュース 第23号 | 小冊子 | 2023 | 愛知大学東亜同文書院大学記念センター |
| シーボルト記念館 | 鳴滝紀要 第32号 | 紀要 | 2023 | 長崎市文化観光部文化財課 |
| 大分県立歴史博物館 | 大分県立歴史博物館研究紀要 23 | 紀要 | 2023 | 大分県立歴史博物館 |
| 大分県立歴史博物館 | 大分県立歴史博物館年報2022 | 年報 | 2023 | 大分県立歴史博物館 |
| 日本工業大学工業技術博物館 | 工業技術博物館ニュース No.117 | 小冊子 | 2023 | 日本工業大学工業技術博物館 |
| 早稲田システム開発株式会社 | MAPPs Press No.20 | 小冊子 | 2023 | 早稲田システム開発株式会社 |
| 立命館大学国際平和ミュージアム | 立命館大学国際平和ミュージアムだより 第31巻 第1号 | 小冊子 | 2023 | 立命館大学国際平和ミュージアム |
| 鹿児島大学総合研究博物館 | 鹿児島大学総合研究博物館 Newsletter No.48 | 小冊子 | 2023 | 鹿児島大学総合研究博物館 |
| (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 | iichiko 総合文化センター 大分県立美術館 総合情報誌 2023 SUMMER vol.101 | 小冊子 | 2023 | (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 |
| 福岡女学院 | 福岡女学院資料室ジャーナル 2023.7.1 vol.4 | 小冊子 | 2023 | 福岡女学院 |
| 長崎歴史文化博物館 | 長崎 れきぶん NEWS No.062 初夏号 | 小冊子 | 2023 | 長崎歴史文化博物館 |
| 阿部剛史・山田久恵 | 北海道大学総合博物館ニュース 第46号 | 小冊子 | 2023 | 北海道大学総合博物館 |
| 福岡県教育委員会 福岡県地方史研究連絡協議会 | 第56回 福岡県地方史研究協議大会「福岡県の風水害一次の世代に語り継ぐ、忘れてはならない歴史2ー」 | 小冊子 | 2023 | 福岡県教育委員会 福岡県地方史研究連絡協議会 |
| 宮崎県教育委員会 | 特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書 (XXV) | 報告書 | 2023 | 西都原考古博物館 |
| 西都原考古博物館 | 宮崎県立西都原考古博物館 令和5年度特別展 置県140年記念Ⅱ 大地を刻む～変化する日向の城～ | 図録 | 2023 | 西都原考古博物館 |

| 著者・編者 | 書名 | 資料区分 | 発行年 | 寄贈元 |
|---|--|------|------|---------------------------|
| 西都原考古博物館 | 宮崎県立西都原考古博物館 年報 2022 (令和4) 年度 | 年報 | 2023 | 西都原考古博物館 |
| 西都原考古博物館 | 宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第19号 | 紀要 | 2023 | 西都原考古博物館 |
| 天草市観光文化課文化課 世界遺産・キリシタン資料館係 天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館 | 令和5年度天草キリシタン館企画展「祈りのカタチ 祈りのココロ」 | 図録 | 2023 | 天草キリシタン館 |
| 天草市観光文化課文化課 世界遺産・キリシタン資料館係 天草キリシタン館 天草ロザリオ館 天草コレジヨ館 崎津資料館みなと屋 | 天草市立キリシタン資料館 年報 (天草キリシタン館・天草ロザリオ館・天草コレジヨ館・崎津資料館みなと屋) No.4 【2022年度】 | 年報 | 2023 | 天草キリシタン館 |
| 福岡市博物館 | 福岡市博物館研究紀要 第三十二号 | 紀要 | 2023 | 福岡市博物館 |
| 福岡市博物館 | 令和2 (2020) 年度収集 収藏品目録 38 | 目録 | 2023 | 福岡市博物館 |
| 福岡市博物館 | 福岡市博物館だより「Facata」季刊 (年四回発行) No.127 | 小冊子 | 2022 | 福岡市博物館 |
| 福岡市博物館 | 福岡市博物館だより「Facata」季刊 (年四回発行) No.128 | 小冊子 | 2022 | 福岡市博物館 |
| 福岡市博物館 | 福岡市博物館だより「Facata」季刊 (年四回発行) No.129 | 小冊子 | 2022 | 福岡市博物館 |
| 福岡市博物館 | 福岡市博物館だより「Facata」季刊 (年四回発行) No.130 | 小冊子 | 2023 | 福岡市博物館 |
| 長崎純心大学博物館 | 越中哲也先生論考集 | その他 | 2023 | 長崎純心大学博物館 |
| 神戸大学海事博物館運営委員会 | 海事博物館企画展近代日本船のあゆみ～多種多様な船とその役割～ | 小冊子 | 2023 | 神戸大学海事博物館 |
| 神戸大学海事博物館運営委員会 | 海事博物館企画展図録2022ありがとう深江丸ふね遺産進徳丸 | 図録 | 2022 | 神戸大学海事博物館 |
| 神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館専門委員会 | 神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館研究年報 No.50 2022 | 年報 | 2023 | 神戸大学海事博物館 |
| 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター | 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第101号 | 小冊子 | 2023 | 東京大学史料編纂所 |
| 公益財団法人 徳川記念財団 | 公益財団法人 徳川記念財団 会報 vol.39 | 小冊子 | 2023 | 公益財団法人 徳川記念財団 |
| みやま市教育委員会 編集補助株式会社 とっぺん | 女山神籠石 II みやま市文化財調査報告書 第18集 | 報告書 | 2022 | みやま市教育委員会 |
| みやま市教育委員会 編集補助株式会社 とっぺん | 女山神籠石 III みやま市文化財調査報告書 第19集 | 報告書 | 2023 | みやま市教育委員会 |
| 坂口博 藤本久子 (火野葦平資料館) | 火野葦平資料の会 会報 あしへい通信 第7号 | 小冊子 | 2023 | 火野葦平資料の会 |
| 那珂川町馬頭広重美術館 | 入江明日香展～浮世絵が結ぶ、江戸と現代～ | 図録 | 2023 | 那珂川町馬頭広重美術館 |
| 河野謙 | じゃおどりの世界 長崎龍学 | その他 | 2023 | 河野謙 |
| 嘉麻市教育委員 | 『語り 伝える 戦争の話』記録集2 | その他 | 2023 | 嘉麻市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第350集 津古内畑遺跡環濠編 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第351集 横隈山古墳2 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第353集 小坂井屋敷遺跡10 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第354集 三沢権道遺跡6 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第355集 横隈上ノ原上遺跡6 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 小郡市教育委員会 | 小郡市文化財調査報告書 第357集 大阪井遺跡30 | 報告書 | 2023 | 小郡市教育委員会 |
| 日本工業大学工業技術博物館 | 工業技術博物館ニュース No.118 | 小冊子 | 2023 | 日本工業大学工業技術博物館 |
| 大分県立先哲史料館 | 史料館研究紀要 第28号 | 紀要 | 2023 | 大分県立先哲史料館 |
| 熊本大学文書館 | 熊本大学文書館 2022年度報告 ニュースレター 第3号 | 小冊子 | 2023 | 熊本大学文書館 |
| 新潟市歴史博物館 | 帆橋成林 [はんしょうせいりん] 第59号 | 小冊子 | 2023 | 新潟市歴史博物館 |
| 帝国データバンク史料館 | 帝国データバンク史料館だより [ミュージズ] 2023.9 Vol.43 | 小冊子 | 2023 | 帝国データバンク史料館 |
| 大阪大谷大学博物館 | 博物館だより No.135 | 小冊子 | 2023 | 大阪大谷大学博物館 |
| 福岡県文化振興課 | 令和4年度「新進気鋭の芸術家育成事業」ちくご AIR プログラム2022成果展 | 図録 | 2023 | 福岡県文化振興課 |
| 公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森 | 上野原縄文の森だより 2023.10 Vol. 45 | 小冊子 | 2023 | 公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森 |
| 九州歴史資料館 | 九歴だより No.58 | 小冊子 | 2023 | 九州歴史資料館 |
| 福岡市美術館 | エスプラナード No.213 | 小冊子 | 2023 | 福岡市美術館 |
| 松本茂 | 令和5年度国際交流展「農耕への道—九州・台湾における植物栽培のはじまり」 | 図録 | 2023 | 宮崎県立西都原考古博物館 |
| 長崎歴史文化博物館 | 長崎れきぶん No.063 秋号 | 小冊子 | 2023 | 長崎歴史文化博物館 |
| 新潟市歴史博物館 | 長井雲坪 沼垂の画家うんべいさんの里帰り | 図録 | 2023 | 新潟市歴史博物館 |
| 新潟市歴史博物館 | 川村修就と新潟 | 図録 | 2023 | 新潟市歴史博物館 |
| 新潟市歴史博物館 | 新潟市歴史博物館研究紀要 第19号 | 紀要 | 2023 | 新潟市歴史博物館 |
| 九州大学総合研究博物館 | 九州大学総合研究博物館ニュース No. 40 | 小冊子 | 2023 | 九州大学総合研究博物館 |
| 立正大学ロータスギャラリー特別展示室 | 立正大学ロータスギャラリー特別展示室だより No.2 | 小冊子 | 2023 | 立正大学ロータスギャラリー特別展示室 |
| 立正大学品川図書館 | 立正大学図書館 古今善本150選 | その他 | 2023 | 立正大学ロータスギャラリー特別展示室 |
| 社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会 | 「愛の手を」第213号 | 小冊子 | 2023 | 社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会 |
| 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 | 2022年度東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報 14 | 年報 | 2023 | 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 |
| 公益財団法人 鍋島報効会 | 公益財団法人 鍋島報効会 研究助成研究報告書 第11号 | 報告書 | 2023 | 公益財団法人 鍋島報効会 |
| 佐賀県立美術館 | あそび、たたかうアーティスト——池田龍雄 | 図録 | 2023 | 佐賀県立美術館 |
| 石川九楊 | 知られざる明治維新——副島種臣 | 図録 | 2023 | 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 |

| 著者・编者 | 書名 | 資料区分 | 発行年 | 寄贈元 |
|--|--|---------|------|----------------------|
| 学習院大学 | 学芸員——学習院大学学芸員課程 2023年 No.27 | 小冊子 | 2023 | 学習院大学 |
| 大分県芸術文化スポーツ振興財団 | 湯——テルマエ工展——お風呂でつながる古代ローマと日本 | その他 | 2023 | 総合文化センター・大分県立美術館 |
| 関西学院大学博物館 | 寿岳文章展—領域なき探求：英文学、民芸、和紙探求 | 図録 | 2023 | 関西学院大学博物館 |
| 関西学院大学博物館 | 生誕120周年 田中忠雄展—聖書を書く— | 図録 | 2023 | 関西学院大学博物館 |
| 玉川大学教育博物館 | 博物館ニュース「SHU」 | 小冊子 | 2023 | 玉川大学教育博物館 |
| 玉川大学教育博物館 | 玉川大学教育博物館館報 第21号 2022年度 | その他 | 2023 | 玉川大学教育博物館 |
| 九州大学総合研究博物館 | 九州大学総合研究博物館ニュース 第40号 | 小冊子 | 2023 | 九州大学総合研究博物館 |
| 朝倉市秋月博物館 | 秋月藩成立四百年記念特別展「藩祖 黒田長典」 | 図録 | 2023 | 朝倉市秋月博物館 |
| 伊藤昭弘 | 江戸時代の災害と小城 | 図録 | 2023 | 佐賀大学地域学歴史文化研究センター |
| 伊藤昭弘 | 江戸時代の災害と小城 史料集 | その他 | 2023 | 佐賀大学地域学歴史文化研究センター |
| 八代市立博物館未来の森ミュージアム | 令和5年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化32 未来の森ミュージアム名品選—これが私たちの宝物— | 図録 | 2023 | 八代市立博物館未来の森ミュージアム |
| 立命館大学国際平和ミュージアム | 立命館大学国際平和ミュージアムだより 第31巻 第2号 | 小冊子 | 2023 | 立命館大学 国際平和ミュージアム |
| 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター | 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第102号 | 小冊子 | 2023 | 東京大学史料編纂所 |
| 中部大学民族資料博物館 | 松浦晃一郎コレクション（新規寄贈彫刻）—彫刻から見たアフリカ展 | 図録 | 2023 | 中部大学民族資料博物館 |
| 中部大学民族資料博物館 | 中部大学民族資料博物館 ニュースレター 第18号 | 小冊子 | 2023 | 中部大学民族資料博物館 |
| 福岡アジア美術館 | あじびニュース vol.92 | 小冊子 | 2023 | 福岡アジア美術館 |
| アーティゾン美術館 | 公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館研究紀要 第4号 | 紀要 | 2023 | 公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 |
| 早稲田システム開発株式会社 | MAPPS Press No.21 | 小冊子 | 2023 | 早稲田システム開発株式会社 |
| 市民ミュージアム 大野城心のふるさと館 | 大野城心のふるさと館 開館5周年記念特別展「国宝 平原王墓出土大鏡の世界 なぜ人々は鏡に魅了されるのか」 | 図録 | 2023 | 市民ミュージアム 大野城心のふるさと館 |
| 学習院大学史料館 | ミュージアム・レター No.52 | 小冊子 | 2023 | 学習院大学史料館 |
| 工業技術博物館ニュース | 工業技術博物館ニュース No.119 | 小冊子 | 2023 | 日本工業大学工業技術博物館 |
| 火野葦平史料館 | 火野葦平資料の会 会報 あしへい通信 第8号 | その他(会報) | 2023 | 火野葦平史料館 |
| 同志社大学神学部基督教研究会 | 基督教研究 第85巻 第2号 | その他 | 2023 | 同志社大学神学部基督教研究会 |
| 東北大学総合学術博物館 | 東北大学総合学術博物館ニュースレター Omnivids No.69 | 小冊子 | 2023 | 東北大学総合学術博物館 |
| 熊本県立大学 | 臼杵市教育委員会所蔵 「加島家資料」目録 | 小冊子 | 2023 | 熊本県立大学 |
| 南山大学人類学博物館 | 南山大学人類学博物館紀要 第42号 | 紀要 | 2023 | 南山大学人類学博物館 |
| 日本博物館協会 | 博物館研究 特集「博物館における動物倫理・動物」 | 雑誌 | 2023 | 日本博物館協会 |
| 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 | iichiko 総合文化センター 大分県立美術館 総合情報誌 2023-2024 WINTER vol.103 | 小冊子 | 2023 | (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団 |
| 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 | 2023 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要 | 小冊子 | 2023 | 東京文化財研究所 研究支援推進部 総務係 |
| 長崎歴史文化博物館 | 長崎れきぶん No.064 新年のごあいさつ号 | 小冊子 | 2024 | 長崎歴史文化博物館 |
| 福岡市美術館 | 令和4年度 福岡市美術館活動の記録 | 小冊子 | 2023 | 福岡市美術館 |
| 福岡市美術館 | 福岡市美術館ニュース『エスプラナード』211号 | 小冊子 | 2024 | 福岡市美術館 |
| 南島原市教育委員会 世界遺産推進室 | 鈴木秀三郎コレクションII | 図録 | 2023 | 南島原市教育委員会 世界遺産推進室 |
| 適塾記念会 | 適塾 | 小冊子 | 2023 | 大阪大学適塾記念センター |
| 新潟市歴史博物館 | 新潟市歴史博物館ニュース「帆船成林」60号 | 小冊子 | 2024 | 新潟市歴史博物館 |
| 日本博物館協会 | 博物館研究 特集「博物館の直面する課題・問題の改善・解決について」 | 雑誌 | 2024 | 日本博物館協会 |
| 福岡市文化芸術振興財団 | 福岡市文化芸術振興財団 社会参加促進事業 障がいのある子どもたちに向けたアウトリーチ事業 令和3～5年度報告書 | 報告書 | 2024 | (公財) 福岡市文化芸術振興財団 |
| 京都大学大学文書館 | 京都大学大学文書館だより 第45号 | 雑誌 | 2023 | 京都大学大学文書館 |
| 同志社大学歴史資料館 | 同志社大学歴史資料館調査研究報告第20集 上京遺跡・新町校地遺跡発掘調査報告書—同志社大学新創館(旧育真館) 建替え工事に伴う発掘調査— | 報告書 | 2024 | 同志社大学歴史資料館 |
| 阿部剛史・山田久恵 | 北海道大学総合博物館ニュース 第47号 | 小冊子 | 2024 | 北海道大学総合博物館 |
| 同志社大学歴史資料館 | 同志社大学歴史資料館館報 第26号 | 報告書 | 2024 | 同志社大学歴史資料館 |
| 九州保健福祉大学 | 九州保健福祉大学博物館学年報 11 | 年報 | 2022 | 九州保健福祉大学博物館 |
| 九州保健福祉大学 | 九州保健福祉大学博物館学年報 12 | 年報 | 2023 | 九州保健福祉大学博物館 |
| みやま市教育委員会 | 『山門遺跡群IV』 みやま市文化財調査報告書 第20集 | 報告書 | 2023 | みやま市教育委員会 |
| (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団 | iichiko 総合文化センター・大分県立美術館 総合情報誌 2024 SPRING vol.104 | 冊子 | 2024 | (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団 |
| 申込潤(九州産業大学美術館)、福岡加谷(九州産業大学美術館)、藤洋介(香椎丘リハビリテーション病院) | 令和5年度文化庁 InnovateMUSEUM 事業「高齢者をつなぐ美術館と医療・福祉施設、行政機関、公民館、他の博物館との連携事業」事業報告書 | 報告書 | 2024 | 九州産業大学美術館 |
| 九州産業大学 | 2024九州産業大学国際シンポジウム「博物館と医療・福祉のよりよい関係～日本・英国・米国をつなぐオンライン開催～」 | 小冊子 | 2024 | 九州産業大学 |

| 著者・編者 | 書名 | 資料区分 | 発行年 | 寄贈元 |
|--------------------------------------|---|------|------|--------------------|
| 九州産業大学 | Museum 令和5年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書 | 報告書 | 2024 | 九州産業大学 |
| 苅田町教育委員会 | 苅田町の文化財 | 小冊子 | 2023 | 苅田町教育委員会 |
| 苅田町教育委員会 | 令和3年度苅田町文化財事業年報 まちの歴史8 | 年報 | 2023 | 苅田町教育委員会 |
| 苅田町教育委員会 | 国指定史跡御所山古墳調査概報4—平成26年・30年度、令和4年度町内遺跡範囲確認調査概報— | 報告書 | 2023 | 苅田町教育委員会 |
| 苅田町教育委員会 | 苅田町文化財調査報告書 第49集 本町遺跡群—個人専用住宅建築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書— | 報告書 | 2022 | 苅田町教育委員会 |
| 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター（編集担当：岡本真・三島暁子） | 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第103号 | 小冊子 | 2024 | 東京大学史料編纂所 |
| 立命館大学国際平和ミュージアム | 立命館大学国際平和ミュージアムだより | 小冊子 | 2024 | 立命館大学国際平和ミュージアム |
| 大分県立美術館 | びじゅつって、すげえ！ 2023—2024 これをやってみよう！ | 小冊子 | 2024 | 大分県立美術館 |
| 樋脇由利子 | 山里の田舎なれども田原家文書に見る筑前上須恵の繁栄と暮らし | その他 | 2024 | 樋脇由利子 |
| 國學院大學博物館 | 國學院大學博物館研究報告書 | 報告書 | 2024 | 國學院大學博物館 |
| 東北学院大学博物館 | KOREMITE vol.9 | 図録 | 2024 | 東北学院大学博物館 |
| 東北学院大学博物館 | OTAKU みゅーじあむ 6号 | 小冊子 | 2023 | 東北学院大学博物館 |
| 東北学院大学博物館 | OTAKU みゅーじあむ 7号 | 小冊子 | 2024 | 東北学院大学博物館 |
| 大阪大谷大学博物館 | 博物館だより | 小冊子 | 2024 | 大阪大谷大学博物館 |
| 東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室 | 東京都江戸東京博物館紀要 第14号 | 紀要 | 2024 | 東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室 |
| 長崎市長崎学研究所 | 長崎市長崎学研究所紀要 長崎学 第8号 | 紀要 | 2024 | 長崎市長崎学研究所 |
| 福岡市美術館 | 福岡市美術館研究紀要 第12号 | 紀要 | 2024 | 福岡市美術館 |
| 忠あゆみ（福岡市美術館） | オチ・オサム展 | 図録 | 2024 | 福岡市美術館 |
| 山木裕子（福岡市美術館） | 田中千智展 地平線と道 | 図録 | 2023 | 福岡市美術館 |
| 岩永悦子（福岡市美術館 館長） | シンガポール・スタイル1850-1950 | 図録 | 2022 | 福岡市美術館 |
| 大分市歴史資料館 | 大分市歴史資料館ニュース vol.131 | 小冊子 | 2024 | 大分市歴史資料館 |
| 公益財団法人有馬記念館保存会 | 有馬記念館年報 第9号 | 年報 | 2024 | 公益財団法人有馬記念館保存会 |
| 熊本大学五高記念館 | 熊本大学五高記念館叢書第7集 昭和期の第五高等学校調査報告(五) | 報告書 | 2024 | 熊本大学五高記念館 |
| 太宰府市教育委員会 | 太宰府市文化財第144集 大宰府の絵師調査報告3 吉嗣家資料【書画編】 | 報告書 | 2023 | 太宰府市教育委員会 |

博物館規程

西南学院大学博物館規程

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規程は、西南学院大学学則(昭和24年4月1日)第5条に基づき、西南学院大学(以下「本学」という。)に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

(名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名称 | 位置 |
|---------------------|------------------|
| 西南学院大学博物館(ドージャー記念館) | 福岡市早良区西新三丁目13番1号 |

(目的)

第3条 西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料(以下「資料」という。)の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

(事業)

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

(職員)

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

- 2 館長は、本学の専任教授のうちから、学長が任命する。
- 3 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。

- 2 前項の学芸員の他に学芸員資格を有する本学教員を加えることができる。
- 3 学芸員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

第8条 博物館に博物館事務室を置き、事務職員を配置する。

- 2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務的事項を行う。

(博物館協議会)

第9条 博物館に、館長の諮問に応えるための機関として西南学院大学博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則(2005(平成17)年10月5日)に定める。

(博物館の管理運営)

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)(以下「管理運営規則」という。)に定める。

(規格外事項の処理)

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

(所管部署)

第13条 この規程に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第9条に規定する西南学院大学博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。
2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規(2016(平成28)年3月9日)に定める。

(委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

- 2 館長が必要と認めるときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

(議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

- 1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。
- 2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第11条に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の利用及び管理運営について定める。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日)

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

(入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

(入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

(資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料(以下「資料」という。)の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することができる。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不適当と認められたもの

(資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
 - (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
 - (3) その他館長が適当と認めるとき
- 2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。
- 3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。
- 4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。
- 5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。
- 6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

(損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

(資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

(資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 総合企画部長
- (4) 社会連携課長
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館（ドージャー記念館）講堂使用内規

2006（平成18）年6月14日
制定

（趣旨）

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則（2005（平成17）年10月5日）第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館（ドージャー記念館）講堂（以下「講堂」という。）の使用に関する事項を定める。

（目的）

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

（使用許可要件）

第3条 西南学院大学博物館長（以下「館長」という。）は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事（授業及びチャペル・アワーを含む）
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

（使用時間）

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

（休館日）

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭（12月25日）
- (3) 年末年始の休日（12月28日から1月5日まで）
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

（使用願の提出）

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体（以下「使用者」という。）は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

（講堂使用料）

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

| 使用料金（税込み） | 時間外管理経費（税込み） |
|--------------|---------------|
| 1時間当たり5,000円 | 5時間以内 10,000円 |
| | 5時間超 20,000円 |

（講堂内の禁止行為）

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品（長椅子等）を移動すること

（臨時設備及び物品の搬入、搬出）

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

（使用の取消又は中止）

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき

- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 博物館事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めたとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、博物館事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、総合企画部社会連携課事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館) パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

(管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

(委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
- (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
- (3) 博物館学芸員
- (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
- (5) 総務課長
- (6) 施設課長
- (7) 宗教部事務室責任者
- (8) 博物館事務室責任者

3 前項第2号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

(招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) コンサート等のため学長が、特に推薦する者

(使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

(使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

(使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
- (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
- (3) 鍵の返却

2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び博物館事務室責任者に通知すること。

(定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

(所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則

この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則(2005(平成17)年10月5日)第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長(以下「館長」という。)
- (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
- (3) 博物館教員
- (4) 大学事務長

2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家(以下「専門家」という。)を委員として加えなければならない。

3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。

4 役職者以外の委員(専門家を除く。)の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格(税込み)が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者(学外者を含む。)の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館学外研究員に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第7条第2項に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の学外研究員に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 学外研究員とは、博物館の事業を推進し、諸活動に寄与することを目的とし、博物館の関係者と協力して資料の収集及び研究に従事する学外者をいう。

2 前項の学外者とは、原則として次に掲げる者をいう。

- (1) 国立、公立及び私立の教育研究機関に所属する、又は所属した教育職員及び研究者
- (2) 博物館資料の調査、収集、整理、保存、公開展示等について専門知識を有する者

(申込み)

第3条 学外研究員を希望する者は、所定の様式による学外研究員受入申請書を博物館長(以下「館長」という。)に提出しなければならない。

(受入れ)

第4条 学外研究員の受入れに関しては、館長の承認を得て、博物館管理運営委員会(以下「委員会」という。)に報告するものとする。

(受入れ期間)

第5条 学外研究員の受入れ期間は、原則として2年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、これを更新することができる。

2 館長が、博物館における業務遂行に支障があると判断したときは、その職務を解くことができる。

(待遇)

第6条 学外研究員と博物館の間には、雇用関係は生じないものとする。

(施設等の使用)

第7条 学外研究員は、本学の教育・研究に支障のない範囲において、大学図書館及び博物館の施設を利用でき、博物館の所蔵資料を調査研究することができる。ただし、研究室は、原則として提供しない。

(刊行物への執筆)

第8条 学外研究員は、博物館が発行する刊行物に執筆し、その刊行物を受け取ることができる。

(所管部署)

第9条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第10条 この内規の改廃は、委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館組織

大学博物館

館長 片山 隆裕 (兼任 本学国際文化学部教授)
 専門：文化人類学・東南アジア研究。
 特にタイを中心とする地域でグローバル化にともなう社会や文化の変容について研究。

博物館教員 森 結 (専任 助教・学芸員)
 専門：西洋美術史
 特にイタリア・ルネサンス美術を中心に研究。

博物館事務室

臨時職員

事務職員 吉田 進
 学芸研究員 鬼束 芽依 (調査教育担当学芸員)
 学芸調査員 前田 桃花 (本学国際文化研究科博士前期課程)
 馬場 紀聡 (本学国際文化研究科博士前期課程)
 栗田 りな (本学神学部神学科生)
 庄崎 詩香 (本学人間科学部児童教育学科生)
 村田 早紀 (本学国際文化学部国際文化学科生)

博物館管理運営委員会 (西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条)

委員長 片山 隆裕 (博物館長)
 委員 尹 芝恵 (博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授)
 才藤千津子 (神学部長 本学神学部教授)
 三苦 正淳 (大学事務長)
 森 結 (博物館教員)
 吉田 直史 (社会連携課長 博物館事務室責任者)

博物館協議会 (西南学院大学博物館協議会規則第3条)

会長 中野 等 (福岡市博物館館長)
 副会長 富田 淳 (九州国立博物館館長)
 委員 尹 芝恵 (博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授)
 山根 明弘 (本学人間科学部社会福祉学科教授)
 三苦 正淳 (本学大学事務長)
 佐伯 道彦 (福岡県私学協会福岡地区支部長)

(2024年10月現在)

西南学院大学博物館年報 第 16 号

2023

発行日 2024 年 10 月 1 日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新 3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社
〒812-0064 福岡市東区松田 3 丁目 9-32
TEL(092)621-8711 FAX(092)621-9459